



ひ

ろ

が

る

!



多治見市福祉教育読本(改訂版) 中学生用



この本で学ぶ皆さんへ

皆さんは「福祉(ふくし)」という言葉はよく聞くとおもう。「福」という字も「祉」という字も、ともに訓読みでは「さいわい」と読みます。「さいわい=幸い」ですね。つまり福祉にはみんなの幸せという意味があります。

それでは、皆さんは、どんな状態であつたら幸せですか。勉強の時間やテストがなかつたら幸せですか。しかし、それでは将来の自分のことを考えるとちょっと心配ですね。たとえば、周りの人が自分を特別な目で見ているとか、近寄りたく話しづらいついてるようだったらどうでしょう。周りの人に話したり、いろいろなことをお願いしたりしにくいですね。どんな状態の自分だったら、幸せを感じられるでしょうか。

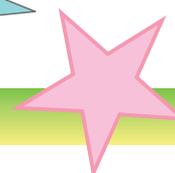
どんな場合でも、人と人が分かり合うためには、あいさつや話をするというコミュニケーションが必要です。そんな時に、お互いの間に壁(バリア)を感じたら、コミュニケーションはとても難しいものになります。

この本は、高齢者や体に障がいのある人たちにご協力をいただいて、年をとると体はどのように変化するのか、体に障がいがあるとどんなときに不便を感じるのか、または、どのように接することがよいのかなどを、皆さんが知り、考え、学習できるように作りました。

福祉は、何も特別なことではありません。皆さんは、友達と話をしてお互いの気持ちが分かり合えたらとてもいい気分になるでしょう。また、困っている友達が自分の協力で救われたら、なんだか自分までうれしくなりませんか。高齢者や体に障がいのある人とも、わけへだてなく、話し合い、理解し合い、協力し合えば、きっとお互いが幸せを感じることができるようになります。そして、福祉(みんなの幸せ)の輪は、もつともつとひろがるでしょう。



もくじ



第1部 障がいのある人とのコミュニケーション

障がいとは	4
第1章 視覚に障がいのある人と	
1 視覚に障がいがあるということ	6
2 視覚に障がいのある人とのコミュニケーション～外出しよう～	8
3 交流しよう	10
第2章 聴覚に障がいのある人と	
1 聴覚に障がいがあるということ	14
2 聴覚に障がいのある人とのコミュニケーション	16
3 交流しよう	18
第3章 肢体に障がいのある人と	
1 肢体に障がいがあるということ	20
2 肢体に障がいのある人とのコミュニケーション～ひと声かけて手助けしよう～	22
第4章 知的に障がいのある人と	
知的障がいとは	26
第5章 発達障がいについての理解	
発達障がいとは	28
障がい者福祉のまとめ	30

第2部 多治見市に住む高齢者・障がいのある人の生活

第1章 高齢者の生活	
1 高齢社会とは	36
2 高齢者体験をしてみよう	38
3 句会に参加する高谷 美代子(たかや みよこ)さん	40
4 在宅サービスを利用して生活する藤井 教司(ふじい きょうじ)さん	42
5 特別養護老人ホームで生活する大橋 たきを(おおはし たきを)さん	44
6 施設サービスを利用して生活する高齢者	46
第2章 障がいのある人の生活	
1 視覚に障がいのある小林 康史(こばやし やすし)さん	48
2 聴覚に障がいのある加藤 昭子(かとう あきこ)さん	50
3 肢体に障がいのある伊藤 一浩(いとう かずひろ)さん	52
4 地域の中で生きる～施設を利用する人々～	54
5 家族の支え	55

第3部 もっと学びたい人は

第1章 福祉の仕事とボランティア ～実践編～	
1 福祉の仕事をしている人との出会い	59
2 児童センターで働く中島 祐子(なかしま ゆうこ)さん	60
3 高齢者介護に関わる鈴木 香(すずき かおり)さん	62
4 高齢者の生きがいづくりに関わる荒井 英雅(あらい ひでまさ)さん	64
5 笑顔があふれるボランティア活動	65
6 君たちも参加できるボランティア活動	66
7 福祉の分野	67
第2章 福祉の仕事と施設 ～資料編～	
1 福祉の仕事と資格	68
2 福祉関連施設	71



活用のしかた



活用



この読本は、中学生の皆さんが福祉について学び、福祉体験をしたり、疑問に思ったことを調べたり考えたりするために作られたものです。

それぞれの項目には、学習の **めあて** がありますので、ワークシートを活用し、理解を深めていきましょう。

構成



第1部 障がいのある人とのコミュニケーション



いろいろな障がいについての理解を深め、体験を通してコミュニケーションの方法を学ぶことを目的としています。

第2部 多治見市に住む高齢者・障がいのある人の生活



多治見市に住む高齢者や障がいのある人が、どんな悩みや希望をもって生活しているのかを本人や周りで関わっている人々の話を通して学ぶことを目的としています。

第3部 もっと学びたい人は



福祉に関わる仕事やボランティアなどから、福祉への関心を深め、自分にできることを探したり自ら福祉について学んだりすることを目的としています。

私は今、手話を学んでいるの。
もっと、いろいろなことを勉強したいわ!



たみ子さん



おさむくん

ぼくたちと
いっしょに楽しく
福祉を学ぼう!



公文書における「障がい者」等のひらがな表記について

公文書^(注)において「障害者」を「障がい者」「障がいのある人」と表記して、「害」の字の持つマイナスイメージが与える不快な心情を和らげるなど、障がい者の人権尊重を推進します。市のこうした取組みを通して、障がい者や障がい福祉に対する市民の理解を推進するものです。

ただし、法令等の名称、法令等で使用される用語、組織・施設名などは、ひらがな表記をしません。

(注) 市が作成する通知文書、広報誌、チラシ、パンフレット、ホームページ等

第 1 部

障がいのある人との コミュニケーション



どんな
コミュニケーションが
あるのかしら？



だれとでも
気軽に話せるように
コミュニケーションを
学ぼう！

障がいとは

めあて 障がいについて知ろう。



皆さんは、「障がい」という言葉から何を思いますか。
私たちの周りには、視覚(目)や聴覚(耳)または手足など、身体に障がいのある人も生活しています。身体以外にも、知的や発達の障がい、心の障がいがある場合もあります。

障がいの原因はいろいろです。病気やけが(事故)、あるいは年をとることにより障がいを持つこともあります。これらは誰にでもそうなる可能性のあることばかりです。ですから障がいのある人を特別な存在として考え、ましてや障がいのある人を差別することは誤りです。

障がいのある人は、その障がいのために生きにくさを感じることもあります。それだけではなく、周囲の理解不足などによる心のバリアや環境(設備・機器、制度上の規制)の不備によるバリアのために不便な思いをすることも多くあります。

では、これから皆さんと一緒に「障がい」の意味について学習していきましょう。



国際シンボルマーク



このマークは「障がい者が利用できる建築物、施設であることを明確に示す世界共通のシンボルマーク」です。

現在、国や自治体において、建築物への設置基準が制定されています。建築物にマークを設置する際は、国や自治体などの設置基準にもとづき使用することを推奨しています。

車いすに乗っている人をデザイン化したものなので、「車いす使用者だけ、あるいは肢体不自由者だけを対象としている」という誤解が多いですが、すべての障がい者を対象としたマークです。

- 1** あなたの周りには障がいのある人はいますか。今までに自分が出会った人を思い浮かべてください。

- 2** あなたはその人と接するとき、どのようなことに気をつけていますか。また、気をつけたいですか。

第1章 視覚に障がいのある人と

1. 視覚に障がいがあるということ

めあて 視覚に障がいがあるとは、どういうことか考えてみよう。
体験を通して障がいのある人の立場になって感じよう。

(1) 視覚に障がいがあるということ

私たちは、目から入ってくる情報を頼りに行動しています。歩くときも目で見て、自分の位置や平衡感覚を確かめながら歩きます。また、少しの段差を簡単に越えたり、避けたり出来ます。

しかし、視覚に障がいのある人は、少しの段差でもつまずいたり転んでしまう可能性があり、とても危険です。目から情報を得るかわりに音や手触り、においなど、いろいろな感覚で情報を得ながら行動しています。

(2) 視覚障がいの程度

視覚障がいには、見えにくい「弱視」から、全く見えない「全盲」まで、さまざまな程度があります。

弱視は目の機能が弱く、物がよく見えない状態です。色の判別がしにくかったり、視野がせまくなったりする場合もあります。

(3) 体験してみよう

アイマスクをつけて全盲の状態を体験してみましょう。視覚に障がいのある人の立場になって、どのようなことが危ないか、不便を感じるかを体験してみましょう。また、視覚に障がいがあっても自分でできることや、どのような手助けを必要としているかを考えてみましょう。

① 体験をする前に

アイマスクをつける人と手助けをする人の、二人一組になって体験をしましょう。

② 目が見えないことに慣れよう

- ・いすに座ってアイマスクをつけ、友だちが何をしているか音を聞いて感じてみましょう。
- ・かばんから本などを出したり、しまったりして手触りで感じてみましょう。
- ・机から本などを落として拾ったり、アイマスクをした人に鉛筆を渡したりしてみましょう。
- ・手助けをする人は、周りの様子を伝えながら危なくないように見守りましょう。

※まわりの様子を伝えるときは「あちら」「こちら」ではわかりません。「右」、「左」や時計の文字盤を例えて、「3時の方向に筆箱がある」という伝え方もあります。



1

視覚に障がいがあると、生活の中でどんなことが不便か、考えてみよう。

2

アイマスク体験をしてみよう。

(1)アイマスク体験をして感じたことをまとめてみよう。

(2)手助けして感じたことをまとめてみよう。

2. 視覚に障がいのある人とのコミュニケーション ～外出しよう～

めあて 視覚に障がいのある人が快適に外出できるための工夫を考えてみよう。

相手の気持ちになって、少しでも相手の状況を知り、お手伝いをしましょう。

(1) 一緒に歩こう(手助けのしかた)

① 基本の形

- ・視覚に障がいのある人の斜め前に立ち、ひじを持ってもらう。
(視覚に障がいのある人と背丈が違う場合は、ひじの上、下または肩を持ってもらう)
- ・歩き始めるときに声をかけ、視覚に障がいのある人の半歩前を歩く。
- ・押したり引っ張ったりせず、視覚に障がいのある人も自分の体と考え、二人分の幅を確保することが大切。
- ※基本の形にとらわれることなく、視覚に障がいのある人にどのように手助けをしたら良いのか、聞いてみましょう。



② せまいところで

- ・「せまいところなので、私の後ろに回ってください」と声をかける。
- ・手助けをしている腕を後ろに回して合図をする。
- ・視覚に障がいのある人に自分の真後ろに入ってもらい一列で歩く。
- ※長く続くときは、肩や背中に触れてもらいましょう。一人分の幅もないときは、お互いの手の甲を触れながら、横歩きをしましょう。

③ 一段の段差で

- ・「一段上がります」と声をかけ、段差の前で一度止まる。
- ・先に段差を上って止まり、視覚に障がいのある人が段差を上るまで待つ。
- ・視覚に障がいのある人が段差を上ったら「段差は終わりです」と声をかける。
- ※下りのときも同様にしましょう。

④ 階段で

- ・「上り階段です」と声をかけ、常に視覚に障がいのある人より一段先に上る。(ふたりのリズムが乱れないことが大切)
- ・最後の段では、止まって動かずに視覚に障がいのある人を待ち、上り終わったら「階段は終わりです」と声をかける。
- ※階段を下りるときも同様にしましょう。



⑤ いすへの誘導

- ・「いすに座ります」と声をかけ、視覚に障がいのある人の手をいすの背に触れさせる。
- ・テーブルがある場合には、もう一方の手をテーブルに触れさせる。

視覚に障がいのある人などの外出を手助けするために、市町村などで養成された人を、ガイドヘルパーといいます。

(2) 視覚に障がいのある人が外出するための補助用具

① 点字ブロック

- 歩道や駅などを歩いていると、黄色い点字ブロックを見かけます。点字ブロックは、線状ブロックと、点状ブロックがあり、足の裏などで触感を確かめます。
- ・線状ブロック・・・凸の部分が細長い線状で進む方向を示す。
 - ・点状ブロック・・・凸の部分が丸い点状で注意を表し、交差点や階段などの危険なところを知らせる。



線状ブロックと点状ブロック

② 音声信号機と音声ガイド

街の中では、点字ブロックのほかに音声を使って知らせるものがあります。

・音声信号機…青信号で歩道を横断するとき音声で知らせる。
東西と南北の音が区別してある。

・音声ガイド…利用者が発信機を持ちスイッチを入れると建物などに設置されたスピーカーから目的地までの案内情報が流れる。

③ 白杖(はくじょう)

視覚に障がいのある人が外出するときは、^{はくじょう}白杖を使います。

足元は安全か、周りに障害物がないか、段差などを白杖で確かめます。白杖で周りの様子を知るとともに、周りの人に視覚障がい者であることを知ってもらうという役目もあります。



白杖

④ 盲導犬

盲導犬は、視覚に障がいのある人を安全に誘導する大切なパートナーです。盲導犬は一步前を歩き、障害物を避けたり、段差を教えるだけでなく、視覚に障がいのある人に前に進む勇氣、希望、自信を与えてくれます。しかし、盲導犬は地図や信号が分からないため「ゴー ストレート」(まっすぐ進め)「ストップ」(止まれ)といった指示に従い、目的地まで安全に誘導します。

知っていますか 盲導犬のこと

盲導犬は、「社会化」を図るため、生後45日ぐらいで母犬から離れていろいろな物や人を見せることから始まります。60日前後で、パピーウォーカー(子犬育成ボランティア)に預けられ、1才になるまで、家庭で生活するために必要なルールやマナーを身につけます。これは人間に対して、信頼感や安定感を持つ人間好きな犬になってもらうためです。

その後、訓練センターで盲導犬の適性判断に合格すると、訓練を受け一人前の盲導犬となります。そして障がいのある人のもとで8~10年間活躍します。日本では、平成17年3月末現在で957頭の盲導犬が活躍しています。犬の種類は、毛の手入れをしやすいことや、愛らしい容姿などから「ラブラドル・レトリバー」が一番多く、「ジャーマン・シェパード」や「ゴールデン・レトリバー」なども活躍しています。

盲導犬を連れている人に出会ったら、盲導犬に声をかけるのではなく、視覚に障がいのある人に「何かお手伝いすることはありますか?」と声をかけてください。盲導犬にさわったり、ハーネス(白い特別な器具)を引っ張ったり、食べ物を与えたりしないでください。(取材協力 中部盲導犬協会)



盲導犬

1 点字ブロックや音声信号機は、どこにありますか。

2 視覚に障がいのある人が安心して外出できるように、自分たちで気をつけることは何か考えてみよう。

3. 交流しよう

めあて

視覚に障がいのある人と交流するにはどんな方法があるのか知ろう。
視覚に障がいのある人と気持ちを伝え合おう。

(1) 点字を知ろう

- ①点字は、縦3列、横2列の6つの点からなる文字です。
- ②この6点は、『あ・い・う・え・お』の5つの母音と、『か行・さ行・た行…』などの子音との組み合わせでできています。
- ③点の部分凸面になっているので、そこを触って読みます。

点字表

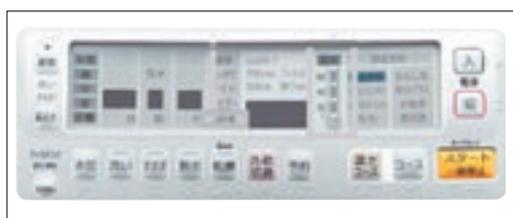
あ ● — —	い ●● — —	う ●● — —	え ●● — —	お —● — —
か ● — —●	き —● — —●	く ●● — —●	け ●● — —●	こ —● — —●
さ ● — —●	し ●● — —●	す ●● — —●	せ ●● — —●	そ —● — —●
た ● — —●	ち —● — —●	つ ●● — —●	て ●● — —●	と —● — —●
な ● — —●	に —● — —●	ぬ ●● — —●	ね ●● — —●	の —● — —●
は ● — —●	ひ —● — —●	ふ ●● — —●	へ ●● — —●	ほ —● — —●
ま —● — —●	み —● — —●	む ●● — —●	め ●● — —●	も —● — —●
や —● — —●	X	ゆ —● — —●	X	よ —● — —●
ら —● — —●	り —● — —●	る ●● — —●	れ ●● — —●	ろ —● — —●
わ — — —●	X			を — — —●
ん — — —●				

ば —● ● — —● ●	び —● ● — —● ●	促音符(小さい「っ」) — — —
ぱ —● ● — —● ●	び —● ● — —● ●	長音符(音をのばす「ー」) — — —
感嘆符(!) — — —●	疑問符(?) — — —●	句点(.) — — —●

きゃ —● ● — —●	きゅ —● ●● — —●	きょ —● ●● — —●
にゃ —● ● — —●	にゅ —● ●● — —●	にょ —● ●● — —●
ひゃ —● ● — —●	ひゅ —● ●● — —●	ひょ —● ●● — —●
びゃ —● ● — —●	びゅ —● ●● — —●	びょ —● ●● — —●
びゃ —● ● — —●	びゅ —● ●● — —●	びょ —● ●● — —●

※普通の点字は、ここで示されたものよりも点が高くなります。また、ここでは、普通は空白になるところを、—で示してあります。

最近では、身近な電化製品に点字表示があります。



洗濯機



食器洗い器

他にも身近にある点字を探してみよう。

(2) 音声で伝える

点字の他に、気持ちを伝え合うには、音声で伝える方法があります。聞く人のために正しい発音やアクセント、速さや声の抑揚などに気をつけることが大切です。

音訳・・・文字情報を音声に変えて、視覚に障がいのある人に届ける作業です。本などを読んでカセットテープなどに保存して利用していただきます。

(多治見市の広報誌は、「多治見アイ・パートナーの会」の皆さんが音訳をして、希望者に貸し出しています。)

スピーチオ



SPコード

①スピーチオは視覚に障がいのある人や高齢者に向けて開発されたSPコード専用読み取り装置です。

②紙に印刷されているSPコードと呼ばれるものを読み取ることで、記録されている情報を音声で聞くことができます。

SPコードの見本
(原寸大)



よむべえ



よむべえは、印刷された活字文書を音声で読み上げる読書機です。

(3) スポーツで交流しよう

① サウンドテーブルテニス(卓球)

一般の卓球は球がネットの上を越しながら競技を進めていきますが、サウンドテーブルテニスは、ネットの下を通していく競技です。使用する球は見えなくてもわかるように音が出ます。

下半身の動きも比較的少ないので、肢体に障がいのある人も参加できます。

② ゴールボール

1チーム3名のプレーヤー同士が、コート内で鈴入りボールを転がすように投球しあって味方のゴールを防御しながら、相手ゴールにボールを入れます。

守る側はサッカーのキーパーのように全身でボールの通過をはばみ、攻める側はボールを相手に取られないように、コースを考えたり変化をつけて転がしたりして、ゴールをねらいます。

どちらも競技中は、弱視・全盲で不公平が出ないように全員がアイシェード(ゴーグル型のアイマスク)をつけます。他にも、マラソンや野球など、視覚に障がいのある人に合わせて工夫されたスポーツはたくさんあります。



ゴールボール

③ 車椅子ツインバスケットボール

日本で生まれ発展したスポーツです。

頸髄損傷者や脳性麻痺等の四肢麻痺者を対象にした、車椅子バスケットボールです。

ツインバスケットの「ツイン」とは、より機能障がいや重い人でもシュートが打てるように、通常のゴールの他に、フリースローサークルの中央にも背の低い小型のゴールを設置していることから「2種類のゴールがある」という意味で「ツインバスケットボール」と呼ばれています。

上肢の麻痺の度合いによって運動能力が異なるため、上・下の2つのリングを使って上・円外・円内の3種類の異なるシュート方法で、得点を競います。



ツインバスケットボール

(4) 岐阜県立岐阜盲学校・中学部生徒からのメッセージ

私は小学2年生までは一般の学校に通っていました。だから地元には仲の良い友達がたくさんいます。その友達とは気軽に話ができ、けんかをしたり言いあつたりもします。隠し事や必要以上に気を遣ってもらうこともないから一緒にいてとても楽しいです。対等につきあうことができるからです。いろいろな人に親切にしてもらえるととても嬉しいです。でも気を遣われると逆に話しかけにくいです。友達やクラスにいる仲間と同じように話ができると嬉しいです。

人にはいろいろな個性があります。例えば、足が速い人・ゆっくりの人、計算が速い人・ゆっくりの人、話すのが得意な人・苦手な人…。「目が見えない」のはその個性の一つだと思っています。

生活の中で、目が見える人よりも不便なことが多いことは確かです。例えば、駅や街など人の多いところを歩くことです。あまりの人の多さで周りの人が白杖に気づいてくれなくて、白杖をけとばされたこともありました。でも、多くの人は、その杖を拾って渡してくれたり、杖のところまで連れて行ってくれたりします。

よく、自分の手を取っていろいろと親切に連れて行ってくれる人がいます。でも、何も言わないで連れて行かれると、とても怖いのです。声をかけ、腕や肩を貸してもらい、こちらが腕や肩を手でつかんでいると安心できます。それから、話しかけながら歩いてくれるととても安心です。

今、いろいろな機会で、たくさんの方の学校と交流をしています。でも、どの学校とも一度きりの交流になってしまうのがとても寂しいです。目が見える人のように手紙のやりとりができないからです。もっともっと交流を深め、いろいろな友達が作りたいです。

私は今、中学3年生です。つまり受験生。夜遅くまで受験勉強をしています。でも、点字で勉強することは、普通に勉強することに比べて倍ぐらい時間がかかってしまいます。また、うまく理解できないこともあります。特に空間図形が困ります。でも、私は将来の夢を実現させるためにがんばっています。

私は寄宿舎に住んでいるため、自分のことは自分でしなければいけません。だから、勉強できる時間が遅くなってしまいます。点字のタイプライターは音が大きいので、同室の人に迷惑をかけてしまうことになり、気を遣わなければならないで困っています。でも、同室の人も同じ受験生なので、(この人は就職のための資格試験ですが)お互いに協力しながらがんばっています。

皆さんも自分の夢を実現するために精一杯できる限りのことをしてほしいと思います。

この学習を振り返って(まとめ)



「第1章 視覚に障がいのある人と」を学習して

学んだこと さらに学びたいこと

第2章 聴覚に障がいのある人と

1. 聴覚に障がいがあるということ

めあて 聴覚に障がいがあるとは、どういうことか考えてみよう。
体験を通して障がいのある人の立場になって感じよう。

(1) 聴覚に障がいがあるということ

私たちは、さまざまな音に囲まれて生活しています。目覚し時計の音で目覚めたり、玄関のチャイムでお客様の訪問を出迎えたり、救急車のサイレンに驚いたり、声を出して会話をしたりと、音を通して伝えられる情報はたくさんあります。

聴覚に障がいのある人は、そうした情報が聴こえないので、目で見たり、手で触ったりして、音を通じた情報収集の難しさを補っています。また、外見からは、聴覚に障がいのあることがわからないことや、会話ができないため、人とのコミュニケーションがとりにくいことに困っています。

(2) 聴覚障がいの程度

聴覚障がいは、入ってきた音が脳に達するまでの間に、その流れをさえぎるようなことが起きている状態です。症状としては、耳にふたをしたように聴こえる、音の強弱に対する感覚異常により、会話が聞き取りにくいなどです。聴覚障がいには、聴こえにくい状態から全く聴こえない状態まで、さまざまな程度があります。

聴覚障がいの程度は、「デシベル」という音の大きさの単位で測られます。

(3) 体験してみよう

聴こえない不便さを体験するために、音のない世界を知ったり、音を使わずに相手に気持ちを伝えたりしてみましょう。

人は、声の大きさや抑揚をうまく使って、感情を伝えていますが、声や文字を使わないで、どこまで表現できるでしょう。

① 音のない世界を知ろう

テレビの音を消して、ドラマのワンシーンをどこまで理解できるか、試してみましょう。

そのワンシーンを、あなたならどのように伝えますか。

② 情報を集めてみよう

ことば以外の音、例えば授業を告げるチャイムの音や車の音などの情報をどのように収集していけばよいのか、考えてみましょう。

③ 音を使わずに相手に伝えよう

自分の趣味、好きなスポーツなどテーマを決め、友達と声を出さずに、お互いにいろいろな方法を考え、相手に伝えてみましょう。

1

聴覚に障がいがあると、生活の中で何が不便か、考えてみよう。

2

自分でテーマを決めて、声や文字を使わずに、友達とお互いに伝え合ってみよう。その時、何が一番大変だったのか書いてみよう。

<p>自分が友達に伝えたいこと</p> <p>伝えるときに大変だったこと</p>	<p>友達が自分に伝えたいこと</p> <p>理解するときに大変だったこと</p>
---	--

3

聴覚に障がいのある人に情報を伝えるには、どのような方法があるのか考えてみよう。
(情報を視覚や触覚でとらえる方法など、聞こえる人にとっても、便利な方法が私たちの身近なところで使われています。)

2. 聴覚に障がいのある人とのコミュニケーション

めあて 聴覚に障がいのある人が快適に生活できるための工夫を考えてみよう。

聴覚に障がいのある人とのコミュニケーション手段はいろいろあります。人の言語能力は聴くことによって発達していくので、聴覚障がいの発生が子どもの時か、大人になってからかによって普段使う方法も違ってきます。どんな場合も、伝えようという気持ちが一番大事です。

(1) 手話について

手話は文字通り、手を使って会話をする事です。

生まれつき耳の機能に重い障がいがあったり、補聴器をつけても、ことばが聞き取りにくかったりする場合は、手話というコミュニケーション手段があります。

基本的な手話は、物や生き物の形や日常の動作をまねているので、すぐに覚えられます。また、手話もことばですから、標準的な手話や方言、流行の手話や若者だけが使う手話、仲間だけが分かる手話などもあります。

手話は、コミュニケーションのひとつの方法であるため、聴覚に障がいのある人が必ずしも手話を使うとは限りません。

(2) 読話（口話）について

読話（口話）は、くちびるの動きの形を読み取ってことばを理解します。口の動きがわかるようにはっきりと話をしましょう。

(3) 筆談について

筆談は、手のひらや紙に文字を書いて伝えます。誰にでもできる簡単な方法ですが、短く簡潔にわかりやすく書きましょう。

話し手の言葉をすばやく筆記して、OHP^(注)を使ってスクリーンに映し出す要約筆記は、講演会などで利用されています。会議や講義などでは、聴覚障がい者の隣りで話し手の言葉をすばやく筆記するノートテイクが多く利用されています。

(4) 聴覚障がい者用補助用具

聴覚に障がいのある人が困ることの一つは、その場で起こった出来事をすぐを知ることが難しいことです。例えば外出先の駅で、急に電車の到着（発車）時刻が遅れても、案内アナウンスが聴こえないので、「なぜ、予定の時刻になっても電車は到着（発車）しないのだろう」と、不思議に思います。

自宅にいても同じ様に、台風や地震の災害情報を、ラジオやテレビから収集できません。

こうした場合に活躍するのが、補助用具や手話通訳です。

① 自宅の場合

- ・お知らせランプ……………ファックスの受信、玄関チャイムなどの音を光により視覚から伝えるもの。
- ・文字放送デコーダー……………テレビの文字放送を受信するための装置。
- ・見えるラジオ……………音声だけでなく、文字情報（ニュース、天気）を受信できるラジオ。
- ・目で聴くテレビ……………専用の受信機アイ・ドラゴンで必要な字幕入り番組を見ることが出来る。

ファックスやインターネットなどは、私たちにとっても便利なものですが、聴覚に障がいのある人にとっても、大切な見る情報です。

② 外出先の場合

- ・振動呼出器……………病院の外来などで、振動で呼び出しを伝える装置。
(医師の診察を受けるときは、筆談か手話通訳が必要です)
- ・携帯電話……………メール機能は、外出先での大切なコミュニケーション手段です。

(注) OHP…テキストを含む画像を聴衆に提示するための表示システムの一つ

聴覚障がい者シンボルマーク(耳マーク)



聴覚に障がいがあることを表す、国内で使用されているマークです。
聴覚に障がいがあっても、見た目にはわからないために、誤解されたり、不利益になったりするなど、社会生活のうえで不安が少なくありません。
このマークは、預金通帳や診察券などに貼って、聴覚に障がいのあることを知らせているため、「聴こえない」ことを理解し、手招きで呼ぶなど、コミュニケーションの方法に配慮をしましょう。

1

聴覚に障がいのある人と会話をするときに、心がけることを考えてみよう。

2

聴覚に障がいのある人のために工夫されたものは、どこにあるのか考えてみよう。



手話通訳をする加藤さん

手話通訳という仕事

市役所福祉課『手話通訳員』加藤さんのお話

聴覚障がい者を主人公にしたテレビドラマや映画の影響もあり、聴覚障がい者についての理解や手話が社会に広がりを見せています。日常的に手話で“おしゃべり”できる人たちが増え、聴覚障がい者との交流や情報交換が盛んに行われるようになってきました。

また、「手話通訳をして欲しい!」という依頼も多くなり、これらの依頼に、“いつでも・どこでも・すぐに・正確に”応じられるように、手話通訳のできる人がもっと増えることが望めます。そして私たち手話通訳者は、聴覚障がい者の方々と「ともに歩む」という気持ちを大切に、単に「ことば」を伝えるというだけでなく、人と人をつなぎ、心と心が通じるよう多くの人と触れ合いながら、これからも手話を学び、手話通訳活動を続けていきたいと思っています。

3. 交流しよう

めあて 聴覚に障がいのある人と気持ちを伝え合おう。

手の動きだけでなく、顔の表情や、体全体の動きを使って気持ちを表しましょう。

(1) 手話を覚えよう

◎おはようございます。→「朝」①+「あいさつ」②



① 右手こぶしを、こめかみにあて、^{ほお}頬にそってあごまで下ろす。



② 両手の人差し指を向かい合わせて立て、指先を曲げる。

◎こんにちは。→「昼(正午)」①+「あいさつ」②



① 右手人差し指と中指を立て、額の中央に当てる。



② 上記の「あいさつ」。

◎こんばんは。→「夜(暗い)」①+「あいさつ」②



① 手のひらを前に向けて肩幅くらいに開き、目の前で交差させる。



② 上記の「あいさつ」。

◎はじめまして。→「初めて」①②+「会う」③



① 左手は手の甲を上にして胸の前に置き、その上に右手を重ねる。



② 左手はそのまま、右手人差し指を伸ばし、他の指は、すほめながら上に上げる。



③ 両手人差し指を立て、胸の前で向かい合わせ、立てた人差し指を近づける。(指→人、指の腹→顔の意味)

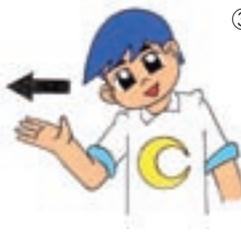
◎お元気ですか? →「体」①+「元気」②+「～か?」③



① 右手のひらを手前にして、体にそって、図のように円を描く。



② にぎった両手の甲を上にして、胸の前に置き、同時に上下に2度動かす。



③ 胸の前から右手のひらを上に向け、前に出す。(顔をかたむけ、疑問の表情で。)

◎よろしくお願いします。→「よい」①+「お願いする(頼む)」②



① にぎった右手を鼻の前に置き、軽く前に出す。



② にぎっていた右手を開き、頭を下げながら右手も前に出す。

(2) 岐阜県立岐阜聾学校・中学部生徒からのメッセージ

私たちは、耳から音を聴いたり、ことばを発したりすることは苦手ですが、皆さんと何も変わらない中学生です。生活する時には少し不便なこともあります。決して不幸ではありません。

私たちに障がいがあるから、とても親切にしてくれたり気を遣ってくれたりしてくれるのは嬉しいけど、それがかえって辛いこともあります。だから、聴覚に障がいがあるということで、助けてあげなければならない人と思わないでください。

私たちは、同じ中学生として対等な友達づきあいを望んでいるし、けんかをしたり、なぐさめあったり、ふざけあったりする、普通の友達関係が作れたらいいと思います。



和太鼓同好会の交流の様子

岐阜聾学校の和太鼓同好会が、中国の上海市第一聾学校と交流してきました。また、中学部が、花フェスタで手話コーラスを発表しました。



手話コーラスの様子

この学習を振り返って(まとめ)

★「第2章 聴覚に障がいのある人と」を学習して

学んだこと

さらに学びたいこと

第3章 肢体に障がいのある人と

1. 肢体に障がいがあるということ

めあて 肢体に障がいがあるとはどういうことか、考えてみよう。
体験を通して障がいのある人の立場になって感じよう。

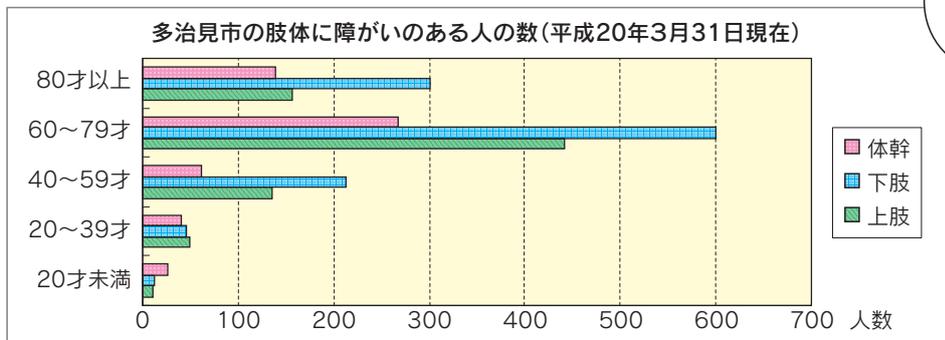
(1) 肢体に障がいがあるということ

皆さんは指先などにけがをして、不便な思いをしたことはありませんか。肢体に障がいがあるということは、肢体の部分、手(腕)や足を自由に動かすことができないこと、正常に機能しないこと、あるいは失った状態にあることをいいます。肢体に障がいのある人は、車いすや松葉杖、義肢(義手・義足)、補そう具などを使用して生活しています。義肢とは人工の手足です。補そう具とは動きを確保、または強化するためのものです。

(2) 肢体障がいの種類

肢体障がいについては、生まれた時から肢体に障がいのある人、事故や病気で途中から肢体に障がいのある人など、さまざまですが、大きく次の3つに分かれています。

- ・上肢機能障がい…手(腕)に障がいのあること。
- ・下肢機能障がい…足に障がいのあること。
- ・体幹機能障がい…背骨などに障がいのあること。



肢体に障がいのある人は、たくさんいるんだね。特に、高齢になると多くなっているね!



(3) 体験してみよう

私たちはごく自然に四肢(両腕両足)を動かしています。肢体に障がいのある人の立場になってみるのは難しいかもしれませんが、疑似体験なら自分だけでできるものもあるので体験してみましょう。(ただし、無理をせず、けがをしない範囲でやってみましょう。)

① 車いすを使う人の目の高さを知ろう

まずその場で立ってみてください。そして、周りにどんなものが見えるか感じながら、ゆっくり360度回ってみましょう。一番遠くには、何が見えますか。

今度はいすに座ったまま、回ってみてください。立ったときと座ったときでは視界が違っているはずですよ。

② 両足が使えないことを知ろう

いすに座ったまま、両足を地面から浮かせた状態で床に落ちた鉛筆を拾ったり、高いところの物を取ったりしてみましょう。また、いすに座ったまま、足を動かさずに、くつ下をはいてみましょう。

③ 片足が使えないことを知ろう

利き手をひざの上に置いたまま、片手で定規を使って線を引いたり、はしで豆をつまんだりしてみましょう。また、片手でタオルを洗い、しばってみましょう。

1 今までに、けがなどで不便だと感じた体験を書いてみよう。

2 肢体に障がいがあると、生活の中で何が不便だろうか、考えてみよう。
(親指を使わずに人差し指と中指でペンを持ち、考えを書いてみよう。)

[手に障がいのある場合]

[足に障がいのある場合]

3 親指を使わずに書いてみて、どのように感じたのか書いてみよう。

2. 肢体に障がいのある人とのコミュニケーション～ひと声かけて手助けしよう～

めあて 肢体に障がいのある人が快適に外出できるための工夫を考えてみよう。
正しい手助けの仕方を学ぼう。

肢体に障がいのある人が外出するとき、小さな段差や駐車してある自転車など、私たちには何でもないことが大きな妨げになっています。困っている人を見かけたとき、どのように接すればよいのでしょうか。また、障がいのある人と外出するときには、どのように手助けしたらよいのか、正しく知りましょう。

(1) 車いすの構造を知ろう



- ① 車いすは手助けする人、使用する人の双方が使いやすいような、多数の工夫がされています。
- ② 手助けをする時は、ティッピングレバーが重要な役割を果たします。
 - ・前輪を持ち上げるときの「テコ」の役割です。そこを踏みつけると比較的簡単に上がります。
 - ・段を昇り降りする場合、車いすを持ち上げるときに踏みます。

(2) 手助けの基本

誰にでも手助けはできますが、安易に行うのは危険が伴いますし、迷惑になることもあるので、次のことを守りましょう。

- ① お手伝いを必要としているか聞く。「お手伝いしましょうか。」
- ② どのように手助けしてほしいか確認する。
- ③ 無理をすると危険なので、安全に努める。
- ④ ひとりで大変なときは周りの人に助けをもらう。

(3) 車いすの人と一緒に外出しよう

① 段差の場合



上るとき

- ・車いすで背のグリップをにぎる。
- ・片足でティッピングレバーを踏みながら、グリップをにぎった手に力を入れ、グリップを下に押すと車いすの前輪が浮く。
- ・前輪が浮いた状態で段差を上る。

下りるとき

- ・後ろ向きで下りる

※車いすの人の体重を支えることになるので、不安なときは、周りの人に声をかけて協力してもらいましょう。



② スロープや坂道で

坂道を上り下りする場合も車いすの人の体重を支えることになるので、腕の力が必要です。



スロープの入口に障がい物を置かない

のぼり坂

・後ろから少し体を前にかたむけて、一歩ずつしっかりと押す。

ゆるやかな下り坂

・前向きで車いすを自分の方へ引き寄せながら下る。

急な下り坂

・後ろ向きで一歩ずつゆっくりと下る。

・ハンドブレーキを軽くかけながら、下るほうが良い場合もある。



階段の代わりにスロープがあっても、入口がふさがれては役に立ちません。
スロープ付近に自転車を置くときは、通行の妨げにならないように気をつけましょう。

③ その他(出入口、エレベーターなど)

他にも、車いすを使う人を手助けできることはたくさんあります。車いすに乗っていると、両手は車いすを動かすことに使うため、なかなか他のことができません。自動ドアでない出入口の開閉を手伝ったり、エレベーターで車いすを利用する人が乗り降りする間「開」のボタンを押したり、「何階へ行きますか。」と声をかけ階数ボタンを押すなど、ちょっとしたお手伝いが手助けにつながります。

そして、「ちょっとしたお手伝いから生まれた手助け」が普及することにより、車いすの人の行動範囲が広がっていきます。

(4) 車いすを使う人のトイレ

車いすを使う人は、車いすの動作ができる広いスペースのあるトイレを使用します。洋式の便座で手すりが必要です。

また、手を洗う洗面台も車いすで使用できるよう工夫されています。赤ちゃんのおムツ交換のためのシートが用意されている場合もあります。

この広いスペースのあるトイレは「障がい者用トイレ」でもありますが、小さな子どもや高齢者など誰でも使用する「ファミリートイレ」「多目的トイレ」とも、呼ばれています。



1

肢体に障がいのある人のために工夫されたものは、どこにありますか。

2

肢体に障がいのある人が安心して外出できるように、自分たちで気をつけたほうが良いことを考えてみよう。

(5) 松葉杖まつばづえを使う人と一緒に外出しよう

① 一緒に歩こう

- ・松葉杖を使う人と一緒に歩くときは、松葉杖を使う人の一歩後ろにつくようにします。
- ・どちらの側につくのがよいか本人に確認します。
- ・松葉杖を使う人は、バランスがよくありません。肩が触れ合っただけで転倒してしまうかもしれないので、体には触れないようにします。
- ・どのように手助けをしたらいいのか聞いてみましょう。

② 階段で

- ・松葉杖を使う人の階段の上り下りに付き添うとき、上りは真後ろに立つようにします。
- ・反対に下るときは、正面に向かい合わせになるように立ちます。
- ・また、肩を貸すときは、左右どちらがいいか、本人に確認します。



③ その他(エレベーターや出入口など)

車いすを使う人と同様、ドアの開閉やエレベーターのボタンは松葉杖を使う人にとっても、押しにくいものです。また、雨が降ったとき、自分で傘をさすこともできませんし、杖の先が滑りやすく、とても危険です。松葉杖を使う人にとって、突然正面に立たれるのは怖いものですので、手助けをするために声をかけるときは、横からかけるようにしましょう。

(6) 手(腕)に障がいのある人と一緒に外出しよう

字を書く、食事をする、衣服を着る、荷物を持つ、掃除をするなど、私たちは日常生活のほとんどのことに手(腕)を使っています。当たり前のことのようにですが、手(腕)はとても大切な役割をしています。

肩から先に障がいのある人、ひじから先に障がいのある人、手首から先に障がいのある人など手(腕)に障がいのある人には、さまざまな人がいます。障がいの程度によって必要な手助けもさまざまです。

手(腕)に障がいのある人と接するとき気をつけること

- ・手(腕)に障がいのある人が荷物を持っているときは、自分でバランスを保ちながら持っているので、いきなり触ったり、ぶつかったりしないよう注意しましょう。
- ・指が自由に動かない人は、細かい作業をすることが困難です。切符売り場や自動販売機などで、「財布からお金を出して切符を買ってください。」と頼まれたら、目の前でよく分かるように財布を扱い、切符を買う手伝いをしましょう。
- ・手(腕)が自由に動かないだけでなく、動作によっては「痛み」を伴う人もいますので注意しましょう。

(7) 足が不自由になった佐藤さんからのメッセージ

私が普通に自分の足で歩いていたころは、障がい者用のトイレや出入口のスロープなどを見かけても、それを必要としている人たちがいることは分かっていたのですが、自分には関係ないことだと思い、通り過ぎていました。しかし、足が不自由になった今は、なくてはならないものになっています。残念ですが体に障がいがあると、自分だけではどうすることもできないことに直面することがあります。

障がいのある人が安心して外出できるようにするためには、多くの人々の理解と協力が必要だと思います。皆さんが外出先でスロープなどを見かけたときは、なぜそこにスロープが必要なのかを少しだけ考えてみてください。

体に障がいのある人に「お手伝いしましょうか？」と声をかけることは、最初は勇気がいることかもしれませんが、時には断られることもあると思います。体に障がいのある人は、毎日の生活の中で自分のペースをもって、自分のペースと手助けしてもらうことが合わない場合は、やむなく「手助け」を断ることもあります。声をかけてくださった「気持ち」はとてもありがたく思っているはずです。

私はお断りする時も必ずお礼を言うようにしています。そして、本当に手助けが必要な時はとても助かります。皆さんが、困っている人を見かけたら自然に声をかけてあげられる人になってくださると、嬉しく思います。

- 3** 雨が降ってきて、一人で困っている松葉杖を使う人を見かけたら、どのように接したらよいか考えてみよう。

..... この学習を振り返って(まとめ)



「第3章 肢体に障がいがある人と」を学習して

学んだこと

さらに学びたいこと



第4章 知的に障がいのある人と

知的障がいとは

めあて 知的障がいについて理解を深めましょう。

(1) 知的に障がいがあるということ

① 知的に障がいがあるということ

知的に障がいがあるとはどのようなことでしょうか。一つは、言葉を使ったり、記憶したり抽象的なことを考えたりすることに苦手さがあります。人より時間がかかったり難しかったりします。

もう一つは、決まった仕組みやペースに上手に適応できないという苦手さもあります。仕事の手順をすぐに覚えたり、人とのやりとりに機敏に対応したりするのが難しいことがあります。

② 知的障がいのある人をサポートするためには

知的に障がいのある人も、一人の成人として必要な支援を受けながら地域で暮らせるようになりました。

以前は、自分の住み慣れたところから離れた施設で暮らす方が多くいましたが、最近では、知的に障がいがあっても、身の回りのことが自分でできる人が数人で共同生活するグループホームやケアホームで生活することができるようになり、生まれ育ったところで安心して暮らせるようになりました。

こうした地域の住まいは、グループホーム(ケアホーム)で世話をする人、ボランティアさんの理解や支援が必要になりますが、なによりも地域でともに生活する皆さんの理解が大切なのです。

(2) 知的に障がいのある人とのコミュニケーション

知的に障がいのある人が話しをするときは、個人差はあるものの例えば次のような特徴があります。

- ① 人との関わりが苦手である
- ② 複雑な話や抽象的な話は理解しにくい
- ③ 人に何かをたずねたり、自分の意見を言うことが苦手である
- ④ 奇声を発したり、周りの人にわかりにくいタイミングで激しく感情を表現する人もいて、周りの人がびっくりすることがある
- ⑤ 言葉がほとんどなかったり、自分が関心を持つことを一方的に話したり、相手の言葉を繰り返したり(オウムがえし)することがある
- ⑥ 言葉を使ったり、記憶したり、抽象的なことを考えたりすることが苦手である
- ⑦ お金など、数的なことを考えることが苦手である

知的に障がいのある人と話しをするときは、必ず正面から声をかけ、相手の注意を引きつけてから「ゆっくり」と「ていねい」に、そして「簡潔」に話しかけましょう。「あれ」「それ」といったあいまいな表現や抽象的な言葉を使わず、具体的にはっきりと説明します。言葉だけで伝わりにくい場合は、ジェスチャーを交えたり、また、漢字にふりがなをふったり、絵や図を使うなど、分かりやすく説明しましょう。

パニックを起こさないようにすることも大切ですが、万が一パニック状態になったら、刺激しないように、また危険がないように配慮しながら、落ち着くまでしばらく見守りましょう。力づくで押さえることは、かえって状態を悪くします。

(3) 知的に障がいのある人の生活

知的に障がいのある人も、適切な支援・指導のもとで、就職して仕事をするすることができます。多治見市で生活している知的に障がいのある人の中でも、地元の人に就職をして仕事をしている人もいます。しかし、知的に障がいのある人で仕事をもっている人はわずかで、多くの人は働きたくても働く場所がないのが現状です。また、障がいの程度などによって就職ができない人は、指導員のもと、仕事をもつことができるよう就労訓練所で訓練をしています。

多治見市役所では、市役所の仕事のうち障がいのある人ができる作業を、障がい者福祉事業所において、訓練する場を提供し、働くことの充実感、大切さを感じてもらいたいと考えています。平成21年11月1日からはJR多治見駅の建物が新しくなり、駅の南北に渡っている通路の清掃事業を、市内の障がい者福祉事業所において、毎日通路をきれいにしてもらっています。



JR多治見駅の南北通路、駅前広場の清掃活動を一生懸命している、知的に障がいのある人

1 知的に障がいのある人と話をするとき、あなたはどのように対応しますか。

2 知的に障がいのある人が地域で生活するために、私たちができることは何か考えてみましょう。

第5章 発達障がいについての理解

発達障がいとは

めあて 発達障がいとはどういうことか、知ろう。
どのように接したらよいか、考えてみよう。

(1) 発達障がいとは

発達障がいは、生まれつきの障がいであり、その症状が発達の早い時期に現れることや、生涯にわたる障がいであることが特徴とされています。

脳の一部で働きに遅れがあったり、その働きにアンバランスさがあったりすることが原因と考えられていますが、まだ十分には解明されていません。

また、発達障がいは、視覚障がい、聴覚障がい、肢体に障がいのある人と違って、外見からは障がいがあることがわかりにくいいため、周囲から誤解されることも多くあります。

障がいのない人でも、「国語は苦手だけど、体育は得意」など、得意・不得意があると思いますが、発達障がいのある人たちは、その苦手さ得意さが、一人ひとり違っていたり、その苦手さが大きかったりします。その苦手さのために生活する上で困難が生じる場合は、発達障がいとしての治療またはその障がいに応じた教育が必要になります。学校においては、障がいのある子どもの生活・学習上の支援をするために、特別支援学級が設置されています。

生まれもった障がいに対して、さまざまなサポートや教育を行うことで、より健康で豊かな育ちを期待することができます。発達障がいであることに気づかず、適切な支援を受けずに大人になることは、その人にとっては大きな生活上の支障になります。まずは、早い時期に発達障がいであることに気づき、適切な支援を行うことが重要です。

(2) 発達障がいの特徴

広汎性発達障害(自閉症)

自閉症というと、自分の殻に閉じこもって周囲とのかかわりを持たない病気、という誤解があるようです。自閉症の主な特徴として、個人差はあるものの次の3つがあります。

- ① 人と上手につきあえない
- ② コミュニケーションがうまくとれない
- ③ 想像力が弱い・強いこだわりがある

他にも、特定の音や声、光などを嫌がったり、においや温度に敏感であったりします。体に触れられるのをとても嫌がる人もいます。

また、その場の状況に応じて対応をとることがとても苦手なので、予測できないことが起きるとパニックになってしまいます。そのため、いつも同じ状態であることにこだわります。いつもと同じ道順をたどりたがったり、物の置き場所にこだわりをもつこともあります。

アスペルガー症候群の特徴

アスペルガー症候群の特徴は、自閉症障がいの特徴があります。自閉症と同様に、「人と上手につきあえない」、「コミュニケーションがうまくとれない」、「こだわりがある」の特徴がありますが、自閉症と違い、ことばの不自由はありません。

学習障害(LD)の特徴

「聞く・話す・読む・書く・計算する」など1つ、あるいはそれ以上の学習上の行動に困難を伴うのが学習障害です。例えば、「文字を習っても理解できず、読むことができない」、「他人の話を聞けない」などのことばや簡単な計算ができないなどの学習上の困難があります。

注意欠陥・多動性障害(AD/HD)の特徴

AD/HDとは、集中力の維持が困難であったり、長時間じっと落ち着いていることができないなどの発達上の障がいがあり、日常の活動や学習に支障をきたす状態をいいます。

(3) 自閉症の人への接し方

自閉症の人と接する際は、まず自閉症がどのような障がいであるのかを理解することがとても大切なことです。自閉症の人は、コミュニケーションをとることが苦手であることが多いので、話をするときには一度に多くのことを話すのではなく、わかりやすい言葉を用いて一つ一つ簡潔に伝える、また言葉だけでなく、イラスト、文字や写真なども使うと比較的にスムーズに理解することができます。また、急な予定の変更などには対応することができない場合があるので、予定などは前もって知らせておくと、落ち着いて行動することができます。

自閉症の人が行動上で不安定な状態にあるときは、何も知らない人には、おかしく見えたり、迷惑に感じる行動をする場合があります。(例えば体をゆらしたり、跳びはねたり、突然走り回ったりすることがあります。)

自閉症の人は、そういった行動をとることで気持ちを安定させることが多いので、おかしなことばや行動も「そうせざるを得ない理由がある」のだということを理解して、落ち着くまでゆっくり、やさしく見守りましょう。

[第4章・第5章の参考文献]

- ・「自閉症の手引き」 社団法人 日本自閉症協会
- ・「知ってほしい! わかってほしい! 知的障がい」 岐阜県健康福祉部障害福祉課
- ・「自閉症の森」 <http://www.jiheinomori.com/>
- ・「サポートハンドブック～障害のある人への窓口でのサポート～」 和歌山県 福祉保健部 福祉保健政策局 障害福祉課

1 自閉症の友達が学校生活する上で、みんなができるサポートは何か考えてみましょう。

2 発達障がいについては、なかなか理解が進まないのが現状です。理解を進めるために、どのようなことをしたらよいのか考えてみましょう。

障がい者福祉のまとめ

めあて 福祉の考え方が生まれた背景を知ろう。だれもが暮らしやすいように、身の周りでどんな工夫がされているのか、考えてみよう。

(1) ノーマライゼーションとは

「ノーマライゼーション(normalization)」とは「障がい者を特別な人と見るのではなく、障がい者が社会の中で普通の生活が送れるような条件を整えるべきで、ともに生きる社会こそがノーマル(あたりまえ)だ。」という考え方です。

この考え方が生まれたのは、1950年代の後半のことです。デンマークの知的障がい者の親の会の運動がきっかけとなって、後に「ノーマライゼーションの父」といわれるバンク・ミケルセン氏が唱えたものです。これは、スウェーデンやアメリカなどでも発展し、世界に広まった障がい者福祉の最も重要な考え方です。

現在ノーマライゼーションは、知的障がい者だけでなく、身体障がい者や高齢者など、福祉の全ての領域に共通する基本的な考え方として理解されています。

(2) バリアフリーとは

「バリアフリー」とは、「障がいのある人が社会生活をしていく上で障壁(バリア)となるものを除去(フリー)する。」という意味です。

1974年に国連障害者生活環境専門家会議が「バリアフリー・デザイン」という報告書を出したところから、「バリアフリー」や「バリアフリー・デザイン」という言葉が使われるようになりました。

もともとは建築関連の用語として登場し、段差の解消など物理的障壁の除去という意味合いが強かったのですが、現在ではより広く社会制度、文化・情報、意識・心理面での障壁(バリア)の除去(フリー)という意味でも用いられています。

みんなでつくる「だれもが暮らしやすいまち」

道路や建物をバリアフリーにしたり、障がいのある人が一人で外出できるように訓練をしたりしても、道路上に看板や商品などの障がい物があると、とても迷惑です。特に自転車や路上駐車は迷惑で、とても危険です。例えば、自転車や自動車が点字ブロックをふさぐと、道しるべを失ってしまう人がいます。

また、体に障がいのある人が車を駐車したくても、健常者が障がい者用駐車場に車を止め、空いていないこともあります。このように、私たち自身がバリアをつくってしまわないよう、障がいのある人や高齢者をはじめ、だれもが暮らしやすいまちを、みんなでつくっていきましょう。

(3) ユニバーサルデザインとは

「ユニバーサルデザイン」とは、「さまざまな個性や能力、障がいに関わらず、あらゆる人が使える設計や企画(デザイン)」という意味です。

ユニバーサルデザインは、アメリカのノースカロライナ州立大学デザイン学部ユニバーサルデザインセンターの創設者である故ロン・メイス氏によって提唱されました。

それは、「全ての人にとって、できる限り利用可能であるように、製品、建物、環境をデザインしたものであり、また、デザイン変更や特別仕様のデザインが必要なものであってはならない。」というものです。

このようななかで、製品やサービスにおいて障がいのある人や高齢者を特別扱いしない考え方としてユニバーサルデザインがあるのです。

多治見市のバリアフリー整備について

長年にわたり築かれてきた街を一斉に改修することは困難なため、多治見市では「バリアフリー整備計画」を作り、計画的に整備をし、だれもが使いやすいまちづくりを目指しています。

[ながせ商店街]



改善前

- ・ 商店などの建物と道路の間に段差があります。
- ・ タイル貼りの道路は、タイルが傷むと歩きにくくなります。



改善後

- ・ 商店などの建物と道路の間の段差をなくしました。
- ・ 水はけのよい排水性舗装材に変え、歩きやすい道路にしました。また路側帯(白線で区分された道路の端の部分)を色分けすることにより、車道と分離しました。

[太平町(福祉センター付近)の道路]



改善前

- ・ 歩道の幅が狭いです。
- ・ 歩道と車道との間に段差があります。



改善後

- ・ 歩道の幅を広げました。
- ・ 歩道と車道との間の段差をなくしました。
- ・ 点字ブロックを設置しました。

[新しい多治見駅の改札付近とユニバーサルデザインのトイレ]



改札付近



多治見駅のトイレ

バリアフリーマークについて



多治見市が独自に設けているマークです。

正式には、「バリアフリー適合証」と言い、基準を満たす施設に交付されます。高齢者・障がい者・乳幼児連れの方等が、施設を安心して利用できるように情報提供し、市民や事業者の皆さんのバリアフリー意識を高めることを目的としています。

1

身近なところでバリアフリーやユニバーサルデザインを見つけ、どんな工夫がされているか考えてみよう。

めあて 障がい者の生活について知ろう。

(1) 特別支援学級

障がいのある子どもも、学校生活の中で、適切な教育支援を行うことで、その子どもの状態や生活状況が改善することがあります。小学校、中学校の中には、障がいのある子どもの教育や学校生活を支援するために、特別支援学級や特別支援指導員などが設置・配置されています。皆さんの学校の中にも、特別支援学級が設置されているのか確認し、その意味を理解してみましょう。

特別支援学級とは

学校の中には、自閉症、学習障がい、知的障がい、視覚障がい、聴覚障がいまたは病弱など何らかのハンディキャップのある子どもたちのために、個別の教育支援をする特別支援学級が設置されています。通常の学級では、一人の教師が多くの児童生徒に対して授業を行うため、児童生徒の障がいに応じた対応をとることが難しい状況です。一方で、特別支援学級では、少人数の児童生徒であるので、その児童生徒の障がいの程度や能力に応じて、その人に適した専門的なサポートを行いながら、生活や学習の向上をはかります。

その他の学校でのサポートとして、多治見市では特別支援教育支援員としてキキョウスタッフを配置しています。支援が必要になる子どもに対して、その子どもの状態に応じて学校における生活の介助や学習上のサポートを行います。

[多治見市の小・中学校での特別支援学級]

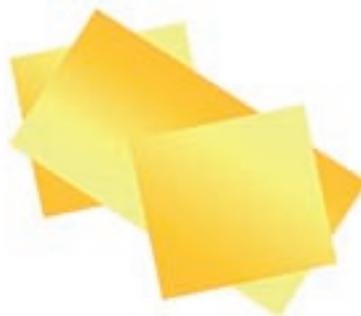
平成22年3月末現在の状況

	小 学 校	中 学 校
知的障がい学級	養正、精華、共栄、昭和、小泉、池田、市之倉、滝呂、南姫、根本、北栄、脇之島、笠原	陶都、多治見、平和、小泉、南ヶ丘、北陵、笠原
自閉症・情緒障がい学級	養正、精華、小泉、市之倉、南姫、根本、北栄、笠原	多治見、北陵、南姫、笠原
弱視障がい学級	滝呂	
通級による指導 ^(注) 言語	養正、根本	
通級による指導 発達等	養正	

(注) 通級による指導

通級による指導は、言語や情緒、視覚、聴覚などに軽度の障がいのある児童が、小学校の通常の学級で学びながら、週1～3時間の専門的な個別指導(自立するための活動)を受けることのできる教育形態です。

第2部



多治見市に住む 高齢者・障がいのある人の生活



おじいちゃん、
おばあちゃんは
どんな生活を
しているのかしら？

障がいのある人と
たくさん交流するために、
いろいろなお話を
聞いてみよう！



第1章 高齢者の生活

1. 高齢社会とは

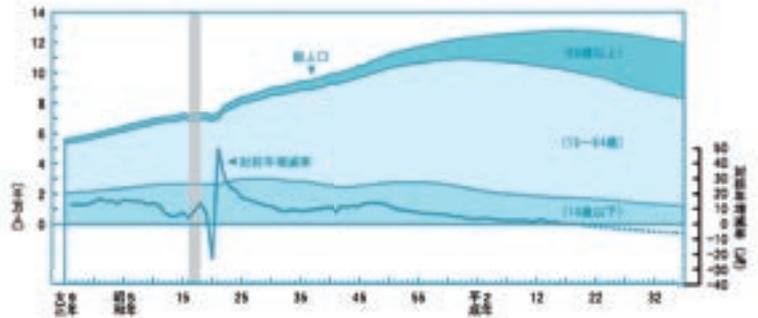
めあて 高齢社会について考えてみよう。

(1) 日本の高齢化

現在、日本は急速に高齢化が進んでいます。高齢化とは、総人口に占める高齢者(65歳以上の人)人口の割合が、増加することです。また、日本人の平均寿命^(注)は男性が79.19歳、女性が85.99歳です。(厚生労働省「平成19年簡易生命表」参考)

子どもの数は年々減少しているのに対し、高齢者は増加しているのわかりますか？

総人口の推移



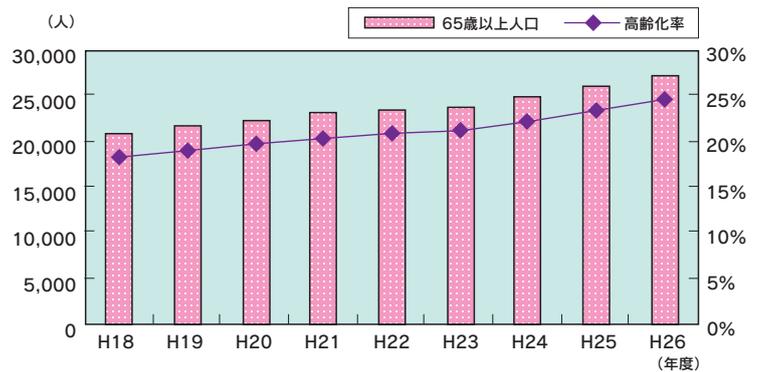
昭和16年～18年の年齢別の推計は行われていない。

(2) 多治見市の高齢化

多治見市は、陶磁器の産地であると同時に名古屋市周辺に勤務する人たちの住宅地でもあります。

65歳以上の高齢者は増え続け、平成26年度には25%に達すると予想されています。

多治見市の65歳以上人口と高齢化率の推移



資料) 高齢者保健福祉計画2006

(3) 高齢者が日常生活で困っていること

多治見市の高齢者の方にアンケート調査を実施し課題を整理したところ、日常生活で困っていることは、「買い物」、「庭の手入れ」、「移動手段」の順に多いという結果ができました。



資料) 高齢者保健福祉計画2009

(注) 平均寿命

今0歳児の赤ちゃんが、何才まで生きられるかの命の平均的な長さのことです。

1

若いころに比べ、高齢になるとどのような変化が起こりそうか考えてみよう。

2

どうして社会が高齢化したのか考えてみよう

3

高齢者が増えるとどんな問題がでてくるか、考えてみよう。

認知症高齢者の理解 ～認知症高齢者の介護に取り組む～

特別養護老人ホーム ベルツリー職員の永井さんのお話

認知症は、①同じことを何度も言う②ご飯を食べたことを忘れる③ボタンをかけ間違える④100円玉と500円玉の区別がつかない、といった症状が現れます。そんなときは否定するのではなく相手を受け入れて対応します。例えば、目薬を差したのに何度も「まだ、目薬を差してもらってないよ。」と言われたときは、「そう、まだ目薬を差してないんだね。」と受け入れたり、ときには「看護師に聞いてみたけど、朝食の後に差したと言っていたよ」と本当のことを伝えたりします。また、ご飯を食べたことを忘れることに対しては、「今、ご飯を炊いているので待っていてね」と伝えます。

なるべく、今まで生活してきた環境を変えないで、家で生活しているように、昔の仕事と同じことをしてもらおうなどの役割を見つけています。

私が心がけているのは、楽しく、不安のない生活を送ってもらうよう、一緒に生活しているんだという気持ちで、やさしく接して、良い関係を築くことです。

また、自分が介護される立場になって介護をしています。

自宅で介護をされてみえる家族の方は、認知症高齢者が家で生活することは恥ずかしいことではないので、福祉サービスを使うなどして一緒に考えていきましょう。

老人性認知症とは、
大脳の変化や萎縮^{いしゆく}によって
知能が低下し、記憶障がいや
人柄の変化が
現れることです。



永井さん

2. 高齢者体験をしてみよう

めあて「高齢になる」とはということか、体験してみよう。

高齢になると、目が見えにくくなったり耳が聴きにくくなったり、体の動きが遅くなったりして、自分の思うように動くことが難しくなります。次の方法を使って、高齢者体験をしてみましょう。

[高齢者体験用の各用具は、多治見市社会福祉協議会で、個人にも貸し出ししています。]

(1) 目が見えにくい体験

視覚障がい体験用ゴーグルをつけて、物が白くにごって見える、老人性白内障の体験や、視野が狭くなる体験をしてみましょう。

(ゴーグルを使用しない場合は、黄色いセロハンを4枚くらい重ねて、周囲の物を見てみましょう。高齢者になると、周りの物が黄色くにごって見える場合があります。)



視覚障がい体験用ゴーグル



聴覚障がい体験用の用具

(2) 耳が聞こえにくい体験

聴覚障がい体験用の用具をつけて、耳が聞こえにくい体験をしてみましょう。

(用具を使用しない場合は耳せんをして、さらに耳を自分の手でふさいで、友達の声を聞いてみましょう。どのように聞こえるでしょうか。)

(3) 体が動きにくい体験

① 自分の思うように体が動きにくいことを知ろう

体におもりやサポーターをつけます。足首、ひざ、腕など体全体につけます。全部で12kgほどつけてみましょう。体の下のほうから装着するとよいでしょう。装着した状態で、階段を上ったり下りたりしてみましょう。その時、必ず補助者をつけましょう。



高齢者体験の様子



体につけるおもり



ひじ用サポーター



ひざ用サポーター

② 手先が動きにくいことを知ろう

軍手を2枚重ねて手にはめて、筆箱の中から鉛筆を取り出してみましょう。そして、文字を書いてみましょう。また、筆箱の中から定規を取り出して、鉛筆で線を書いてみましょう。



手首や足首につけるおもり

1 目が見えにくい体験について

(1) あなたの周囲の物や人はどのように見えたのか書いてみよう。

(2) 新聞、広告、本などの文字を読んだときどのように見えたか書いてみよう。

2 耳が聞こえにくい体験について

(1) 友達の声がどのように聞こえたか書いてみよう。

(2) 高齢者と話すときに、どのような工夫をしたらよいか考えてみよう。

3 体が動きにくい体験について

(1) 体におもりをつけて階段を上り下りしたとき、つけた時とつけなかった時と、どのように違ったか書いてみよう。

(2) 軍手を二重につけたときは、普通に文字や線を書くときと比べ、どのような不便さを感じたか書いてみよう。

3. 句会に参加する高谷 美代子 (たかや みよこ) さん

めあて 自宅で暮らしている高齢者の生活を知り、高齢者の気持ちを考えてみよう。

[紹介]

- ・大正13年笠原町に生まれる。
(平成22年4月現在85歳)
- ・15才から多治見市の電気会社に勤務。
- ・24才で結婚。
馬2頭を飼い、馬車引き^(注1)の仕事をする。
- ・29才で窯焼き^(注2)を始める。



何でもメモをする高谷さん

(1) 毎日感謝の気持ちをわすれません

かさはら福祉センターが近くにあるので、毎日のように通って、何でもやりたいことをやっています。子どもとでも、誰とでもおしゃべりできるようにユーモアのある、明るく朗らかなかわいいおばあさんになるようにここがけています。

良い方良い方を考えていけば、必ず良いことにつながっていきます。切り替えをするようになってからいろいろとくよくよ思わなくなりました。

いつも「ありがとう」「すまん」「たのむな」を言うようにしています。地域の人にも家のものにも、お嫁さんにも感謝しています。

以前は、老人クラブの役員をやっていましたが、病気をしてしまいやめました。現在は、月1回病院に行きますが、いたって健康です。健康にも感謝。

(2) とても楽しそうな俳句の会の様子

メンバー9名で、毎月1回かさはら福祉センターで行われている俳句の会に、参加しています。

毎回メンバーが5首ずつ俳句を作ってきて、会でそれぞれが良いと思う句を選んでいき、最後に先生がコメントを述べられます。毎回楽しんで参加しています。

いっしょに句会に参加している方は、「高谷さんは、俳句の種を作られるのがとてもうまく、みんなの俳句を詠む速度に合わせることができ、話もついていけるのですばらしい」とおっしゃって見えました。

右の俳句は、高谷さん作で、平成21年6月25日の「東濃文芸」に掲載されたものです。



俳句の会の様子

(注1) 馬車引き

馬に人や荷物を乗せて運搬する仕事

(注2) 窯焼き

陶磁器などを焼成加工する仕事

鯉のぼり
一匹増えて
遊びをり

1

高谷さんが楽しみにしていることや、うれしく思っていることはどのようなことか、まとめてみよう。

2

高谷さんが気をつけていることはどのようなことか、まとめてみよう。

3

高谷さんのお話から、高齢者から学ぶことは何か考えてみよう。
(私たちになくて、高齢者にあるものを考えてみよう。)

4. 在宅サービスを利用して生活する藤井 教司（ふじい きょうじ）さん

めあて 自宅で暮らしている高齢者の生活を知り、高齢者の気持ちを考えてみよう。

【紹介】

- ・昭和11年岐阜県山岡町に生まれる。(平成22年4月現在74歳)
- ・関東・中部地方の行刑施設^(注1)を転勤しながら、昭和59年に多治見市に居を構える。
- ・定年退職後、名古屋市で保護司として7年勤める。
- ・69歳の時、脳出血により左半身不随となり車椅子での生活となる。
- ・奥様と子どもと3人で暮らしている。
- ・1ヶ月の半分は、ショートステイ^(注2)、通所リハビリテーション^(注3)を利用している。



塗り絵をする藤井さん

(1) 藤井さんの生活

家では、朝食後約2時間かけて、じっくり新聞を読みます。予定のない日は、塗り絵をしたり、テレビを見たり、昼寝をしたりして過ごします。少々のお酒（ビール）も楽しみのひとつです。

物忘れしないために、常にメモを取るようになっています。塗り絵もリハビリとってやっています。



奥様の補助で移動する藤井さん

(2) 楽しみにしているショートステイ

人と人との出会い、食と味との出会い等により感動を得ることができます。

そのほかに、入浴、リハビリや各種施設で行われている漢字ゲーム、熟語ゲームなど娯楽行事に参加することが楽しみです。

(3) 藤井さんの心配事

本人のお話

転ぶと自力で立ち上がることができないため、天災に遭遇した場合どうなるのかとても心配です。

しかし、利用している施設では避難訓練などを実施しており、安心できることもあります。

奥様のお話

今の状態だと、洗面所やトイレの住宅改修を行ったことによって、なんとかやっつけていけるが、これ以上状態がわるくなると困ります。

リハビリに行きたくないと言われると困りますが、嫌がらずに行ってくれるので大変助かります。

ケアマネジャーの坂本さんのお話

動作ひとつがリハビリになるので、リハビリに通うこと自体もリハビリになります。

また、男性は、いろいろ行事等に参加することを嫌がる人が多いですが、藤井さんは嫌がらず参加されるので良いと思います。

(注1) 行刑施設 被疑・被告人・受刑者を収容する施設

(注2) ショートステイ 福祉施設に短期入所して、日常生活上の支援(食事、入浴、排せつなど)や、機能訓練などを行います。

(注3) 通所リハビリテーション 老人保健施設や医療機関などで、入浴などの日常生活上の支援や、生活行為向上のためのリハビリテーションを、日帰りで行います。

1

自宅で過ごすことが多い藤井さんの生活から、どのような福祉サービスがあるとよいか考えてみよう。

2

ショートステイは、藤井さんにとってどのような役割を果たしているのだろうか。

3

家族に介護の必要な人がいるとき、どのような手伝いができるのか考えてみよう。

在宅サービスについて

平成12年4月から、高齢者介護の問題を社会全体で支えていくために、介護保険制度がスタートしました。この制度では、だれもが高齢者になり介護が必要になっても安心して暮らせるよう、介護を必要としている高齢者が、身体の状態によって介護認定を受けて、自分の受けたいサービスを受けることができます。サービスには、在宅サービスと施設サービスがあります。

在宅サービスの種類

訪問介護、訪問入浴介護、訪問看護、訪問リハビリテーション、居宅療養管理指導、通所介護、通所リハビリテーション、短期入所生活介護、短期入所療養介護、認知症対応型共同生活介護、特定施設入所者生活介護、福祉用具貸与、福祉用具購入、住宅改修

お風呂に入ることが
困難な方の自宅を訪問し、
入浴の手助けを行います。



福祉用具貸与
(電動ベッドなどを借りられます)



住宅改修
(手すりの設置や段差の解消など)



訪問入浴介護
(移動入浴車)

5. 特別養護老人ホームで生活する大橋 たきを (おはし たきを) さん

めあて 施設で暮らしている方の生活を知り、高齢者の気持ちを考えてみよう。

【紹介】

- ・大正9年生まれ(平成22年4月現在89才)
- ・結婚してから名古屋市に住み、ご主人が亡くなってから、息子と同居するため多治見市に引っ越す。
- ・現在は車いすを使っている。
- ・平成16年に、特別養護老人ホームに入所、1人部屋で生活している。



くつろぐ大橋さん

(1) 施設に入ったきっかけ

私は、78才のとき、^{のうこうそく}脳梗塞をわずらい、県病院、老人保健施設でのリハビリを経て、介護設備の整っている特別養護老人ホームで暮らすことになりました。

(2) 大橋さんの1日

大型テレビで野球中継をよく見ます。もちろん中日ドラゴンズのファンです。

また、週に1回買い物に行き、バナナやどら焼を買うことも楽しみです。お風呂は、週2回入ります。また、リハビリも週2回月曜日と水曜日に行っています。

〈1日のスケジュール〉

6:30	起床、着替え
7:30	洗顔の後、朝食
10:00	テレビを見る お茶を飲む
12:00	昼食
13:30	リハビリ(月水) 入浴(週2回)
18:00	夕食
22:00	就寝

(3) 大橋さんのお話

私は、歩行器で少しずつ足を動かしたり、手を動かしたりして、リハビリを行っています。時間はかかりますが、自分でやれることは一生懸命自分でやっています。

夜は体が痛くて眠れないことが多いです。寝返りを打つこともできません。若いスタッフの方に体の向きを変えてもらったり、体中にシップを貼ってもらいます。職員の方たちに、とても大切にしてもらっています。

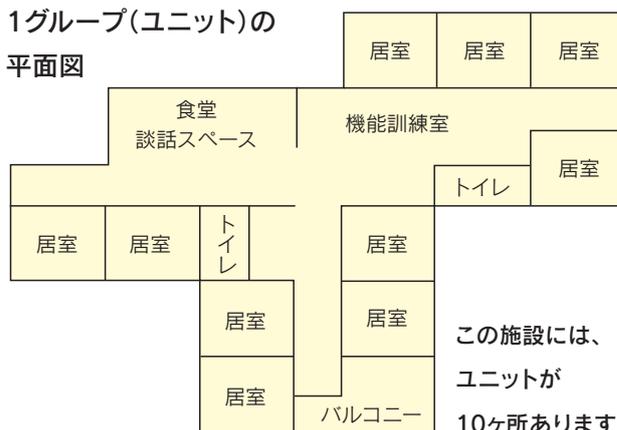
「大橋さんとはとても努力家です。一生懸命自分の力でやろうとする姿をととても尊敬しています。」と、取材に立ち会ってくださった職員の方がおっしゃって見えました。

(4) 介護職員さんのお話

この施設は、居室を10室ずつのグループ(ユニット)に分け、そのグループ毎に食堂や談話スペース等の設備を整える、**ユニットケア**という介護をしています。部屋は全室個室で、個性とプライバシーを確保しています。また、いつも同じ職員と一緒に過ごし、少人数の家庭的な雰囲気の中で日常生活を送っていただいています。

介護職員は、利用者の方の願いをかなえ、一人ひとりが生きがいをもって毎日を過ごせるようにしていきたいと考えています。

1グループ(ユニット)の平面図



1

大橋さんが介護施設で生活していてよいことはどんなことか考えてみよう。

2

理想の老人ホームはどのようなものか考えてみよう。

3

施設で生活する高齢者を訪ねるとき、どんなことに気をつけて高齢者と接したらよいか、また、どんなことをすると喜ばれるか考えてみよう。

[気をつけること]

[喜ばれると思うこと]

介護施設サービスの紹介

【 】は平成22年4月現在、多治見市内にある施設です。

1 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)

【たじみ陶生苑、かさはら陶生苑、ベルツリー、ピアンカ、エバーグリーン、清涼苑】

介護が必要で、なおかつ事情があつて自宅で暮らせない高齢者のための生活施設です。

2 介護老人保健施設(老人保健施設)【メモリアル光陽、アルマ・マータ】

病院から退院後すぐに自宅で暮らせない高齢者のためのリハビリ施設です。

3 介護療養型医療施設(療養型病床群等)【水野内科】

慢性の病気や認知症、骨折などの治療等を必要とする高齢者のための医療施設です。

6. 施設サービスを利用して生活する高齢者

めあて 老人保健施設・グループホームは高齢者にとってどんなところか考えてみよう。

(1) 介護老人保健施設（老人保健施設）「アルマ・マータ」を訪ねて

定員100名のこの施設は、病院での治療は終わっているが、家庭での生活に不安がある高齢者が体の機能訓練（リハビリ）を行っている施設です。つまり、病院と家庭の中間の施設です。

しかし、本人の回復状況はよいものの、家庭の事情で戻ることができない方もいらっしゃるそうです。

施設では、季節に応じて行事を企画し、音楽療法、茶道、陶芸なども、利用者の希望により行うことができるようになっています。

音楽療法

音楽に合わせて体を動かします。

ボランティアの協力で日々のリハビリに取り入れられています。



リハビリ指導

リハビリの指導をする太田さん(理学療法士(P.69参照))のお話

老人保健施設が、病院と違うところは、病院が治療目的であるのに対して、ここは、「生活」を含めたリハビリがあるということです。高齢になると年々症状も悪くなりますし、リハビリをして必ずしも全ての人が元気になるとは限りません。逆に病院に戻る人もいます。そんな時は辛いですね。

リハビリでは、本人の生き方、性格を尊重して高齢者と接するように心がけています。

作業療法

家庭でできるような趣味づくり



(2) グループホーム「太陽」を訪ねて

グループホームは、在宅介護が困難な認知症高齢者が少人数で家庭で暮らしているような雰囲気の中で生活する施設です。この施設では、現在18名の方が入居されており、専門知識のあるスタッフが、高齢者一人ひとりに合うように接しています。建物は、民家が点在している中にあり、普通の2階建てアパートを改装し、壁で区切り、個室になっています。また、いこいの場として居間があり、入居者の方が食事や団らんを楽しみます。犬も飼っています。入居者の家族は、いつでも訪問できますし、入居者は好きな時に外出することができます。

管理者 弓削(ゆげ)さんのお話

グループホームは、認知症の方々の共同生活の場ですが、今後はそれにこだわることはないように思います。高齢者自身や家庭の事情で在宅での生活が困難な高齢者、認知症や寝たきりの高齢者の方々が、スタッフと協力して共同生活を行い、楽しく暮らしていけるような制度ができればいいですね。



食前のひととき

これからは、このような在宅に近い家庭的な雰囲気をもったグループホームで、よりその人に合った介護が求められてくると思います。



個室でゆっくり過ごす高齢者

1

老人保健施設は、高齢者にとってどんなところか考えてみよう。

.....
.....
.....
.....

2

グループホームは、高齢者にとってどんなところか考えてみよう。

.....
.....
.....
.....

..... この学習を振り返って(まとめ)



あなたが理想とする高齢社会はどんな社会ですか。

.....
.....
.....
.....



「第1章 高齢者の生活」を学習して

学んだこと

.....
.....

さらに学びたいこと

.....
.....



第2章 障がいのある人の生活

1. 視覚に障がいのある小林 康史 (こばやし やすし) さん

めあて 自宅で暮らしている障がい者の生活を知り、障がいのある人の気持ちを考えてみよう。

[紹介]

- ・平成22年4月現在40才
- ・20才の時に失明。
- ・大阪の職業生活訓練センターで1年半点字や歩行などを訓練。
- ・その後、名古屋盲学校へ3年間通い、鍼灸^{しんきゅう}マッサージを学ぶ。
- ・総合福祉センターへ、脳卒中の方のリハビリ指導に2年ほど行く。
- ・平成14年、希望ヶ丘の自宅で鍼灸マッサージ治療院を開業。
(現在も週3回午前中に総合福祉センターでリハビリ指導中)



仕事中の小林さん

(1) 失明した時の小林さん

僕は、20歳の時に失明しました。入退院の繰り返して、いやだなあと思ったこともありました。

失明してしまった時には、さすがにショックでしたが、僕は割と気持ちの切り替えが早くできる方なので、「次にどうするか」ということを考えましたね。

それで、「自分一人で生活できるようにしよう」と思って、大阪の訓練センターに行ったのです。

点字が読めるように訓練したり白杖^{はくじょう}を使って一人で街の中でも歩けるように訓練したりするのですが、点字も白杖も初めてなのでよく分からないし、いろいろな所に体をぶつけて痛いし、いやだなあと思うことがなかったわけではありません。でも、指導者の人がとても丁寧に教えてくださったことがすごく支えになりました。

(2) 一人暮らしを実行した小林さん

一人暮らしを経験した小林さんのお話

最初に訪ねた不動産屋では部屋を貸してもらえませんでした。でも、2軒目に行った所は理解があって貸してもらえました。盲学校の近所だったからでしょうか。それに、外国人も多く住んでいて、差別とか偏見とかというものが無い地域だったのです。

書類を書くことだけは困りましたが、大家さんや家族が代わりに読んでくれるなど、説明を受けることができたので何とかできました。それ以外では、食べ物屋やスーパーなども近くにあって大丈夫でした。名古屋だったので電車やバスもたくさんあって移動には困りませんでしたよ。

部屋を貸した大家さんのお話

「全盲」と聞くと、「一人で大丈夫なんだろうか？」という不安があると思いますが、小林さんは盲学校で何でも自分でできるように身につけてきていたので、さほど心配していませんでした。これまでも障がいのある方や外国人などがここを利用されましたが、わからないことや間違ったことがあればそのつど話し合ってきました。ただ、火事になることだけが心配だったので、失礼だとは思ったのですが小林さん専用の消火器を部屋に置かせてもらいました。しかし、小林さんは何でも自分でやってしまうしっかり者でしたよ。

(3) 余暇を楽しむ小林さん



ボールを転がして打ちます。ピッチャーとして活躍する小林さん。全盲4人・弱視6人のチーム編成。音が頼りです。汗をかくのは気持ちいいですね。



友達とシンガポールへ行きました。全盲2人・弱視3人・健常者1人です。友達との語らいは楽しいです。僕はどこでも行きますよ。

(4) 小林さんの思い

若いころは、こうでなきゃいけない、と思って、ずいぶんいろんなことに対して衝突してきましたが、今はいろいろな立場があることを理解し、受け入れるようになりました。みんながそれぞれの立場があることを考え、民間も行政も障がい者にとってもよかった、と思えることが大切だと思います。

1

20歳まで視力があつた小林さんの生活は、中途障がい(失明)になったことで、どんなふう
に変わったのか考えてみよう。

2

小林さんが「自分の力で生活しよう」と決めて、仕事を持ったり、一人暮らしを実行できた
りしたのはなぜか、考えてみよう。

[本人の視点から]

[周りの人との関わりから]

3

小林さんの生活から感じたことや学んだことをまとめてみよう。

2. 聴覚に障がいのある加藤 昭子 (かとう あきこ) さん

めあて 自宅で暮らしている障がい者の生活を知り、障がいのある人の気持ちを考えてみよう。

【紹介】

- ・平成22年4月現在66才
- ・夫・娘・息子・孫の5人家族。
- ・2人の子どもを育てた。
- ・子どもが保育園に通っているときパート勤めをしていた。
- ・今は、専業主婦です。



皮細工でかばんを作る加藤さん

(1) 趣味を広げる加藤さん

加藤さんのお話

平成6年ごろ、広報で福祉センターで行っている『まくらめの教室』のことを知り、通い始めました。15年程続けました。

その後、まなびパークでガラス教室があり、それにも参加しました。とにかくじっとしていることがきらいで、フェルト、モラ(刺しゅう)、絵手紙やパッチワークも習いました。

最近では、主人と一緒に、陶芸教室(金曜日)に通っています。主人は、陶芸関係の仕事に50年間就いていて、その道のベテランです。市之倉の公民館まつりに作品を出品しました。

ご主人のお話

随分いろいろな趣味があります。もう人に教えることができる腕前ではないかと思いますが、本人は、まだまだと言っています。

趣味を通して、多くの方々とのふれあいがあり大変良いことだと思います。

(2) 加藤さんの願い

「今困っていることや、不便なことは、ありませんか？」とたずねたところ、加藤さんは、ご主人と手話で会話しながら、首をかしげました。

特に困っていることや、不便と感じることは、ありません。最近、聴こえないことを知らせると筆談をさせていただきます。以前、北海道へ旅行したときも、やさしい人で筆談で対応してくれて、本当にうれしかったです。

いつもの生活は、大丈夫ですが、これから年をとっていくなから体のことがとても心配です。

主人が、少し前病気をわずらったので、元気になったら、2人で旅行に行きたいと思っています。

(3) 加藤さんの作品

これまでに作った作品の数々です。

本当にたくさん作品を作ってみえます。



加藤さんのこれまでの作品の数々

3. 肢体に障がいのある伊藤 一浩 (いとう かずひろ) さん

めあて 自宅で暮らしている障がい者の生活を知り、障がいのある人の気持ちを考えてみよう。

【紹介】

- ・平成22年4月現在47才
- ・小さいころの病気により、上肢・下肢に障がいがある。
- ・母と二人暮らし。
- ・小学校1年生から高校3年生まで関養護学校(現関特別支援学校)で学ぶ。(自宅通学)
- ・岐阜県身体障害者福祉協会に所属している。
- ・毎週1回、デイサービスに出かけている。



大好きなドラゴンズの選手を描く伊藤さん

(1) 趣味を広げる伊藤さん

機能訓練をしていましたが、初めは手も足も動きませんでした。15才までは手の訓練を重点的にしていましたが、それ以降自分が使いやすい足の動きを強化する訓練に変え、足でペンが使えるようになりました。口に筆をくわえて描く星野富弘さんの詩画集に影響を受け、足で絵を描いています。

また、文章や詩を書き、電子メールを通し多くの人に自分の思いを伝えることが私の喜びです。

(2) 伊藤さんの日常

いつも、時間がかかってもいいから、何か自分にできることはないか考えるようにしています。

例えば、手が不自由なので食事は手助けが必要ですが、できるだけ自分で食べるように、食べ物によっては皿に盛ってもらいます。

また、友達に会うために、ひとりでバスに乗って外出もします。運賃の支払いは運転手さんに頼んで、ポケットからお金を出してもらいます。買い物も同じように、頼んでお金を払います。

(3) 伊藤さんの願い

一番の願いは、交通のバリアフリーが充実することです。障がい者だけでなく、全ての人のために大切なことだと思います。

また、障がい者は見た目は良くないかもしれませんが、考えていることは皆さんと変わらないのです。特別な目で見るとは、皆さんと同じ意識を持っていることを理解してほしいです。

歩き続けよう
伊藤 一浩
この夜が明けたら
手も、足も、
普通に動いていたりして
布団に入り
言うこともなく
目を閉じる
繰り返ししていた思春期
どうして僕が—
広がっていた、悔しさと
悲しみの海
「人は、平等であり障がいは個性」
声高に叫ぶ群衆
何も分らない私
戸惑う二十歳前
前だけを見つめた
希望
人々の微笑み
そして、得たぬくもりと
自身のテリトリー
休まずに、歩き続けよう
足もとから伸びている
私だけの道



伊藤さんが描いた、ドラゴンズの立浪選手

今までに、「翼を求めて」、「忘れない思い出」の2冊を出版されました。また、創作活動の表彰として、「岐阜県芸術文化活動等特別奨励」(平成5年)、「東海テレビひまわり賞」(平成8年)を受賞されました。

1

時間がかかっても、自分でやろうとする伊藤さんの思いを書いてみよう。

2

外出するときに、伊藤さんの障がいとなっていることは何か考えてみよう。

3

伊藤さんの願いを実現するためには、どんなことが必要か考えてみよう。

[交通バリアフリーの視点から]

[自分たちにできることから]

4

伊藤さんの詩を読んで、感じたことを書いてみよう。

4. 地域の中で生きる ～施設を利用する人々～

めあて 施設を利用する障がい者の生活を知り、障がい者の抱える問題について考えてみよう。

(1) 「優が丘」を訪ねて

旭ヶ丘にあるこの施設では、10代から60代までの知的障がい者の方々が仕事をしています。知的障がいとは知能の障がいのことです。「知能」というのは、物事を正しく判断したり、正しく処理したりする頭の働きのことです。ここで働く人たちは、その知能に障がいがあるため、1つのことを覚えるまでに、時間がかかります。しかし、じっくり訓練を受ければ、しっかりと覚えて、とても丁寧に作業することができます。こうした障がいについては、なかなか一般の会社では理解されず、社会に出て仕事をすることは大変困難です。優が丘は、こうした障がい者を支援する施設です。

(2) 「優が丘」の仕事の様子



ズボンをかけるハンガーは6つの行程を経て、できあがります。1つ仕上げで3円です。



手作りのコースターに「優が丘で作成」したロゴ(しるし)を入れます。まっすぐに縫うのは難しいですが、とてもじょうずです。

(3) 「優が丘」で作業する障がい者を支える職員・安藤さんの思い

みなさんが将来学校を卒業し、社会人として会社に入ったり、いろいろな職業についたりするように、ここは通っている人にとって、働いたり、多くの人と触れ合ったり、またいろいろな活動をするとても大切なところです。

障がいがあるためにうまく相手に伝えられなかったり、理解できなかったり、また作業や活動がうまくできなかったり、教えてもらうことが難しかったりすることがあります。そうした難しいところをできるだけ理解して丁寧に対応することで、一人ひとりが自立した社会生活を送れるように支援しています。

みなさんは、障がい者やその人たちが利用しているところをどんなふう感じていますか？ここを利用している人たちはとても優しく、お互いを大切に思い、一生懸命仕事をし、みんなで支えあっています。もちろんたまには、ケンカもあります。いろいろあるのはみなさんと同じですし、きっとみなさんが思っているより明るく元気な人たちです。また、実際に一緒に過ごしてみると「心がホッとすると話す方が多いです。私たち職員は、通っている人を「支援」することが仕事ですが、逆に利用しているみなさんから元気や心をもらい「明日からもがんばろう！」という気持ちになり、お互いに支え合っていることをいつも感じています。

いろいろな人がいることを受けとめ合い、相手を大切に思い「みんなで力を合わせて生きていく」ということが当たり前のこととして広がっていくことを望んでいます。これからは、地域の多くの人と触れ合う機会を増やしていこうと考えています。

1 安藤さんの思いからあなたが感じたことを書いてみよう。

5. 家族の支え

めあて 障がいを通した家族の温かい絆、心と命の大切さを知ろう。



ここで、前回まで表紙を描いてもらっていた、
ありがのぶみ
有賀宜美さんと母韶子さんが歩んできた人生
について、お話ししたいと思います。



前読本 表紙

昭和55年、宜美さんはダウン症という障がいをもって生まれてきました。医者には、心臓・肝臓が肥大し、知的障がい・運動障がいが一生涯あり、生命も短いといわれました。

宜美さんがまだ幼いころ、韶子さんは何度も話しかけましたが、なかなか理解してくれませんでした。韶子さんは、「この子は障がいがあるから仕方がないんだ。」と理解してもらうことをあきらめていました。しかし、そんな韶子さんに、宜美さんは何度も何度も一生懸命語りかけてきました。その純粹で真っ直ぐな気持ちに、そのときはっとしました。「障がいがあるから」という差別の気持ちが自分の中にあつたことに気付いたからです。「のぶさんは生きている。一緒に生きて、幸せになろう。」と心に決めました。

今、二人はとても幸せです。

障がいを越えて、心の中でのぶさんの生命とお話ができました。のぶさんの心には太陽があるのです。

韶子さんは言います。「のぶさんと出会い、命の大切さを見つめることができました。自分が、自分の命がとてもいい。のぶさんから生きる喜びを覚えてもらったのです。」

宜美さんのもっているものを最大限に引き出して・・・



二人で一緒に作った絵本を手にして
お話をする韶子さんと宜美さん

1 家族の思いからあなたが感じたことを書いてみよう。

.....この学習を振り返って(まとめ).....

★「第2章 障がいのある人の生活」を学習して

学んだこと

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

さらに学びたいこと

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....



第3部

もっと学びたい人は

ぼくたちにできることを
探してみよう!



私たちといっしょに
いろいろな福祉を
学びましょう!



多治見市内の主な福祉施設マップ



障がいのある人のための施設

障害児通園施設

- ▲なかよし療育センター
- ▲ひまわり子どもの家

障害者支援施設

- ▲はだし工房共同作業所
- ▲なごみの杜かさはら
- ▲陶技学園
- ▲社会就労センターけやき
- ▲優が丘
- ▲旭ヶ丘ホーム
- ▲ピュアハート姫

高齢者のための施設

認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)

- 愛の家
- ほほえみ多治見
- 我家我家(がやがや)
- シュアー
- 太陽
- グリーンホームかさはら
- 花トピア姫
- ホープ
- 市之倉ひまわり
- さくらの杜
- 円
- 住ま居る

特別養護老人ホーム

- たじみ陶生苑
- かさはら陶生苑
- ピアンカ
- ベルツリー
- エバーグリーン
- 清涼苑

皆さんのための施設

- 総合福祉センター
- かさはら福祉センター
- サンホーム滝呂
- ふれあいセンター姫

第1章 福祉の仕事とボランティア～実践編～

1. 福祉の仕事をしている人との出会い

おさむくんとたみ子さんが学校の帰り道に、少し変わった車を見かけました。それは、車いすのままで乗ることができる車でした。職員の方は、やさしく声をかけながら高齢者を車から降ろしていました。



車いすの人と職員の方が楽しそうに話しているね。職員の方はやさしくて頼りになる感じがするわ。福祉の仕事って大変そうだけど、人に安心とぬくもりを届ける素敵な仕事ね!

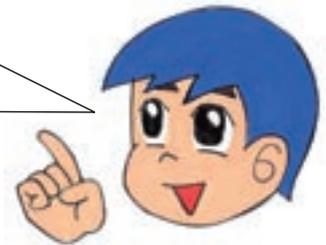


高齢者を車から降ろす職員



総合福祉センター

そうだね！ 僕も、福祉の仕事に興味が出てきたよ。
でも、どんな仕事があるか、わからないから、いろいろ調べてみたいなあ。



二人は、実際に仕事の様子を見るため、太平町にある総合福祉センターに行ってみることにしました。そこでは、**社会福祉協議会**^(注)の職員の方々のお話を伺いました。

総合福祉センターには、多治見市社会福祉協議会事務局、太平児童センター、在宅老人デイサービスセンター、老人福祉センター、地域包括支援センター、障害者福祉センター、母子福祉センター、ボランティアセンターなどがあります。

君たちも利用したことがあるかな？

1階にある児童センターの児童厚生員の方のお話を聞いてみたらどうだろう。

その後、2階3階の施設も見学してみると、いろいろと福祉の仕事がわかると思うよ。



(注) 社会福祉協議会

住民の参加・協力を基礎として、地域における福祉課題の解決に取り組み、「だれもが安心して暮らせる福祉のまちづくり」の実現を目指している民間の組織です。

社会福祉協議会職員になるには、**社会福祉士**^(*)の資格を持つことが望ましいです。

※ **社会福祉士**…身体または精神に障がいがある人や生活環境上の理由から日常生活を営むのに支障がある人に対し、福祉に関する相談に応じ、助言等の手助けを行う専門職です。

2. 児童センターで働く中島 祐子(なかしま ゆうこ)さん

めあて 児童館・児童センターはどんな施設か考えてみよう。

おさむくんとたみ子さんは、さっそく児童センターへ向かいました。



どんな仕事をしているのかしら？



児童厚生員の中島祐子さん

中島さんのお話

児童館・児童センターは、児童福祉法の中で定められている児童福祉施設です。そのなかでも児童遊園とともに児童厚生施設と呼ばれます。児童厚生施設とは、「児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、または情操をゆたかにすることを目的とする施設」です。

児童館・児童センターはすべての子どもたちに開かれたあそび場です。遊びの専門家である児童厚生員が遊びの手助けをしてくれます。

私たち児童厚生員は、教員・幼稚園・保育士の資格のいずれかを持っています。

事業としては、0歳から保育園に行く前の子ども達に向け親子で遊んだりする乳幼児クラブ、小学生に向けて一輪車クラブ、そしてボランティアに親しんでもらいたいと子どもスタッフ、中高生に向けて乳幼児とのふれあい交流など行っています。また、学年に関係なくみんなで遊べるよう考え工夫して楽しめるようにしています。

その他に、地域の皆さんとの交流事業(夏まつり、餅つき大会など)も行なっています。



池田っ子太鼓



一輪車クラブの様子

中島さんのお話

多治見市には、児童館6ヶ所・児童センター7ヶ所の計13ヶ所(小学校区に1ヶ所ずつ)があります。どの館も中高生のみなさんまで利用することができますが、特に多治見市総合福祉センター内にある、太平児童センターには、中高生スペースという中高生専用の部屋があります。

交流・フリー・表現の3つのスペースがあり、読書や音楽・卓球などさまざまな活動ができます。調理・飲食もできます。中高生の『居場所』として開設されています。

「児童館・児童センターへまだ遊びに来たことのない子は、ぜひ近くの児童館・児童センターへ遊びに来てください。」

1 児童センターで働く中島さんの仕事についてまとめてみよう。

[対象としている人]

[仕事の内容]

[大切にしていること]

2 中島さんのお話から、あなたが感じたり考えたりしたことを書いてみよう。

3 これまでに児童館・児童センターの利用経験があれば、そのことについて書いてみよう。

[いつ]

[どこで]

[何をしたか]

[感じたこと]

3. 高齢者介護に関わる鈴木 香(すずき がおり)さん

めあて 福祉に関わる人たちの喜びはどんなところにあるのか、考えてみよう。

おさむくんとたみ子さんは、続いてデイサービスセンターを訪ねてみました。



デイサービスセンターってどんなところかな？
高齢者の方はどんなことをしているのかな？

介護福祉士^(注1)鈴木さんのお話

『デイサービスセンターには、在宅生活を送る上で何らかの支障がある高齢者の方などが利用してみえます。私達はその方々の食事や入浴、排せつなどのお手伝いをすると共に、一日を楽しく過ごして頂けるように、ゲームや季節に合わせた行事等を考えることも大切な仕事としています。最近では、外部の講師の方をお招きして、絵手紙や書道、音楽療法や3B体操^(注2)なども取り入れています。』



食事のお世話をする鈴木さん



利用者の方と話をする鈴木さん



デイサービスで、楽しそうにお話をしているわね！

鈴木さんのやりがいは何だろう？
つらいことはあるのかな？



鈴木さんのお話

介護の仕事をしていてやりがいを感じるのは、利用者の方から「今日も一日楽しかった。」「ありがとう」と声をかけて頂いた時ですね。そんな時は私自身もうれしくなり、さあ次はどんなことをして楽しんでもらおうか？とアイデアを絞り出します。

でも、人相手のお仕事ですから大変なことも多く、つらいこともあります。昨日まで元気にお話していた方の具合が急に悪くなったり、デイサービスセンターに来られなくなったりすることも多いのです。ですから、利用された日かけがえの無い一日だと思い、その一日を楽しく過ごしていただくことの大切さを感じています。

鈴木さんから私たちへのアドバイス

高齢者のなかには、外出が難しく、人との触れ合いが途絶えてしまった方が多くみえます。皆さんがここへ来て、一緒におしゃべりをしたり、歌を歌ったりしてくだされば、高齢者は心から喜ばれると思います。また、皆さんにもきっと学ぶことがたくさんあると思いますよ。

(注1) 介護福祉士

身体または精神に障がいがあることにより、日常生活を営むのに支障がある人の入浴、排せつ、食事など生活上必要な介護を行う専門職です。

(注2) 3B体操

ボール、ベル、ベルターを用具を運動の助けとして使用しながら、全ての動きを音楽に合わせて、集団で行う健康体操です。

1 デイサービスセンターで働く鈴木さんの仕事についてまとめてみよう。

[対象としている人]

[仕事の内容]

[もっている資格]

[大切にしていること]

2 鈴木さんはこの仕事のどんなところに喜びを感じているのか考えてみよう。

3 鈴木さんのお話から、あなたが感じたり考えたりしたことを書いてみよう。

4. 高齢者の生きがいがづくりに関わる荒井 英雅(あらい ひでまさ)さん

めあて 福祉に関わる人たちはどんなことを大切にしているのか、考えてみよう。

おさむくんとたみ子さんは、老人福祉センターを訪ねてみました。



荒井さんは、なぜ、福祉の仕事を選んだのかしら？
どんな仕事をしているのかしら？



高齢者の方とお話する荒井さん

荒井さんのお話

小学生の頃から、障がいを持っている友人と接する機会が多かったり、祖父母の介護の様子をよく見かけたりしてきました。

そんな経験を通して福祉に興味を持つようになり、中学生の頃から将来は福祉の仕事に就きたいと考えてきた結果、多治見市社会福祉協議会に就職したことで、夢が叶いました。

現在老人福祉センターで、多治見市内に住んでみえる60歳以上の方を対象に、パソコンや絵手紙といった様々な教室の開催、季節に合わせた行事の実施、娯楽室の運営などを担当しています。

高齢者のみなさんが、楽しく過ごすことのできる場所づくりを目指しています。

荒井さんのお話

私は、この仕事を通して温かみのあるコミュニケーションをとることを大切にしています。話しかけても相手が冷たい態度だったら、せつかくの楽しい気持ちも台無しになってしまいます。

この老人福祉センターを、利用者の皆様にとって、楽しく居心地の良い場所にするためにも、笑顔で親身になって接することを心がけています。

高齢者といっても、60歳ぐらいの方から90歳以上の方まで利用しています。30歳の年齢差というと親子といってもおかしくありません。そんな幅広い年齢層の方々全てが満足していただけるような内容の教室や、行事を企画していかなければならないと感じています。



料理教室の様子

1 荒井さんのお話から、あなたが感じたり考えたりしたことを書いてみよう。

5. 笑顔があふれるボランティア活動

めあて ボランティア活動について知ろう。

職員とは違う服装で働いている人がいました。聞いてみたら「ボランティアの方々ですよ。私たちの職場は多くのボランティアに支えられているのです。みんなにもできる活動がきっとあるよ。」と教えてくださいました。おさむくとたみ子さんは、ボランティアセンターを訪ねてみました。



ボランティアセンターはどんなところかな？



ボランティアルーム

ボランティアセンター 古山さんのお話

ボランティアセンターでは、ボランティアに関するいろいろな事業を行っています。ここで、ボランティア活動に関する相談を受け付け、ボランティアコーディネーターは、活動を「したい人」と「してほしい人」とを結び付け、活動の条件などを調整しています。このほかにも、活動に必要な知識や技術を習得する講座を開催したり、自主的に活動できるための支援や情報を提供したりしています。

また、総合福祉センターの4階には、ボランティア活動に興味のある人が、自由に使えるボランティアルームがあります。室内には、パソコンやビデオ、図書、掲示板などがあり、いろいろな情報を集めることができます。

ボランティアにはどんな活動があるのかしら？
どんな人が参加しているのかしら？



古山さんのお話

ボランティア活動と一言でいっても、高齢者や児童、障がい者を支援する活動があり、活動の場所も、地域や福祉施設、学校、自宅などいろいろあります。このほかに美化活動やリサイクル活動、環境、国際交流、災害に関する活動など、活動分野も幅広くあります。

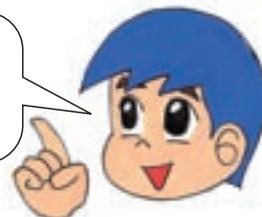
仕事をしている人や主婦、学生など、いろいろな人が個人、または団体でボランティア活動に参加しています。



掲示板で情報確認

古山さんのお話を聞いて、
何かボランティア活動をし
てみたくなったわ!!

よし、ぼくたちもさっそく
今度の休みに挑戦してみよう!!



6. 君たちも参加できるボランティア活動

めあて 私たちはどんなボランティア活動ができるのか、考えてみよう。

ボランティア活動は、特別な人が行う活動ではありません。普段の生活の中で、人を助けたり自分が助けられたりすることがよくありますね。そんな気持ちで、できることを探してみてください。日々の暮らしの中で、できることがきっと見つかるはずです。

(1) 学校でできる活動

地域の高齢者を学校に招いて楽しく交流したり、アルミ缶を集めて福祉施設に車を寄付したり、赤い羽根共同募金などの募金活動を行うことができます。他の学校ではどんな活動をしているのか交流してみましょう。



募金活動

(2) 自分ひとりや仲間とできる活動

自分ひとりや少人数の仲間では、使用済みの古切手やテレホンカード、ベルマーク、アルミ缶などを集めたり、地域に一人で暮らしてみえる方の話し相手となったりするなどの活動ができます。

社会福祉協議会では、使用済みの古切手やテレホンカード、ベルマークなどを回収しています。



地域の高齢者と集会所で交流

(3) 理解と関心を深めよう

福祉について理解と関心を深めることも大切です。福祉に関連する本を読んでみたり、各種講習会に参加したりするなど積極的に福祉に関する知識や情報を得るなどして、理解を深めましょう。社会福祉協議会には、「夏のボランティア体験」をはじめ、中学生の皆さんでも参加できる講習会がありますので、参加してみましょう。



ボランティア体験の様子

夏のボランティア体験 [申込先:社会福祉協議会 電話25-1131]

- ・老人福祉体験コース
老人福祉施設などで食事介助や話し相手などを体験します。
- ・障がい者福祉体験コース
障がい児(者)施設での体験や手話・要約筆記・点字・音訳を体験します。
- ・児童福祉体験コース
児童館などで幼児の遊び相手や行事のお手伝いをします。



音訳



手話



要約筆記

1

自分にもできそうなボランティア活動を考えてみよう。

7. 福祉の分野

福祉には、これまで学習してきた高齢者や障がい者の福祉だけではなく、いろいろな分野があります。

(1) 児童の福祉

子育て・子育て支援^(注1)に関することが行われています。

障がい児の訓練施設、保育園などの保育サービス、児童館・児童センター、学童保育所や医療費の助成に関することなどです。

(2) ひとり親・女性の福祉

母子家庭や父子家庭への援助、女性に対する援助が行われています。相談員が相談を受けたり、その人に合った援助を行ったりしています。

また、総合福祉センターの中にある母子福祉センターは、母子家庭のための施設ですが、父子家庭への支援もします。

(3) 高齢者の福祉

高齢者の支援に関することが行われています。

日常生活の援助、生活用具の貸出し、入浴サービス、食事サービス、老人施設の利用、住宅改修費用の助成、医療費の助成などがあります。また、生きがいづくり活動も行われています。

(4) 障がい者の福祉

心身に障がいのある人の支援に関することが行われています。

日常生活の援助、生活用具の給付や貸出し、補そう具の交付、障がい者施設の利用、税金の軽減、住宅改修費用の助成、自動車改造費用の助成、手話奉仕員の派遣、医療費の助成などがあります。

(5) 生活の福祉（生活の援護）

生活保護という、憲法に定められた「最低限度の生活を保障する」ための制度に関することなど、主に経済的な援助に関することが行われています。

また、認知症高齢者や知的障がい・精神障がいのある方が福祉サービスを利用したりする際の援助なども行われています。

(6) 地域の福祉

各地域で、民生児童委員^(注2)、主任児童委員^(注3)などが福祉を支えています。近隣の困っている人への援助が行われています。

また、社会福祉協議会では、ボランティアや福祉委員など、市民参加による福祉活動の推進に関することが行われています。地域での交流やボランティアセンターの活動もその一つです。

(注1) 子育て・子育て支援

子育てをする家庭を支援するだけでなく、子どもたち自身も支援していくことです。

(注2) 民生児童委員

社会奉仕の精神を持って、子ども、障がい者、高齢者等の援助を必要としている人の相談に応じ、情報提供及び援助をする地域の奉仕者。民生委員法に基づく民生委員と、児童福祉法に基づく児童委員を兼務している。

(注3) 主任児童委員

児童福祉に関する事項を専門的に担当し、民生児童委員の活動に協力する。多治見市では小学校区に2名ずつ配置されている。

1

多治見市役所で行われている福祉の仕事を、市役所のホームページで調べてみよう。

<http://www.city.tajimi.gifu.jp>

第2章 福祉の仕事と施設 ～資料編～

1. 福祉の仕事と資格

福祉の仕事に関係する主な仕事と主な職場、仕事に就くために必要な資格は次のようなものがあります。(職場の欄には例をのせていますが、これ以外にも、高齢者、障がい者、子どもの施設などいろいろな職場があります。)

	仕事内容	職 場	資 格
介 護 職 員	高齢者や障がい者の方など、介護を必要とする人が利用する施設で、食事、入浴、排せつ、更衣などの身の回りのお世話をすることが中心です。	例：特別養護老人ホーム デイサービスセンター	取得が望ましい資格 ・介護福祉士 ・訪問介護員 (ホームヘルパー)
訪 問 介 護 員 (ホームヘルパー)	介護を必要とする高齢者や障がい者の方が、自宅で食事や入浴などを一人ですることが難しいとき、家庭を訪問してお手伝いをします。	例：社会福祉協議会 訪問介護サービス事業所	必要な資格 ・訪問介護員 (ホームヘルパー) ※介護保険のホームヘルプサービスの場合
相 談 員	高齢者や障がい者の方、また環境上の理由により日常生活を営むのに支障がある方の福祉に関する相談や援助を行う専門職です。	例：特別養護老人ホーム 身体障害者更生相談所	取得が望ましい資格 ・社会福祉士
介護支援専門員 (ケアマネジャー)	寝たきりや認知症などで要介護の状態にある人の家庭を訪問し、主に介護保険に関する相談、手続き、紹介、調整などを行います。	例：特別養護老人ホーム 居宅介護支援事業所	必要な資格 ・介護支援専門員
支 援 員 (職業指導員) (作業指導員) (生活支援員)	職業指導員・作業指導員は身体障がい者や知的障がい者の方が利用する施設で、作業のやり方や心構えなどを支援します。生活支援員は、支援計画に基づき障がい者の方の日常生活のお世話をします。	例：身体障害者更生援護施設 知的障害者援護施設	取得が望ましい資格 ・社会福祉士 ・介護福祉士
保 育 士	保育所では、親が働いている時間、保育所で子どもを預かり、遊びなどの保育を通じて子どもの健全な成長と発達を支援します。	例：保育所 児童養護施設	必要な資格 ・保育士
児 童 指 導 員	児童養護施設、障がい児施設などで生活する子どもたちが健全な発達を遂げられるよう、家庭での親に代わって、生活全般の世話や指導を行います。	例：児童養護施設 障がい児施設	取得が望ましい資格 ・保育士 ・児童指導員

	仕事内容	職 場	資 格
児 童 厚 生 員 (児童の遊びを指導する者)	児童厚生施設等に訪れた子どもが安全かつ自主的に遊ぶことができるようにサポートする仕事です。	例:児童館 学童保育クラブ	必要な資格 ・教員 ・保育士
理 学 療 法 士	障がいを持つ方の身体運動機能や身体能力が回復できるように援助します。	例:病院 老人保健施設	必要な資格 ・理学療法士
作 業 療 法 士	身体機能に障がいのある人に、さまざまな活動を通して能力の維持・改善の援助をします。	例:病院 老人保健施設	必要な資格 ・作業療法士
栄 養 士	栄養価計算に基づく献立作成や祭事などのイベント食の作成、食事制限がある方の食事の管理など、栄養バランスと演出効果を取り入れながら、栄養管理、献立作成を行います。	例:特別養護老人ホーム 小・中学校	必要な資格 ・管理栄養士 ・栄養士
調 理 員	栄養士が作成した献立に基づき調理を行います。	例:特別養護老人ホーム 小・中学校	取得が望ましい資格 ・調理師
保 健 師 ・ 看 護 師	利用者の状態観察や把握、指示に沿った処置や点滴、また食事、入浴、排せつなどの生活面での援助、さらに日常の健康管理、病気の看護、施設の衛生管理などが主な仕事です。	例:病院 特別養護老人ホーム	必要な資格 ・保健師、看護師
社会福祉協議会職員	社会福祉協議会は、県・各市町村に設置されている民間団体で、地域福祉を推進する中核となる団体です。 職員は、地域福祉活動を円滑に進めるための地域の組織化や、生活や福祉に関する地域の相談窓口になったり、福祉活動の地域の相談窓口になったり、福祉活動の地域のネットワークづくりなど、さまざまな活動を行っています。	例:社会福祉協議会	取得が望ましい資格 ・社会福祉士
臨 床 心 理 士	臨床心理の専門職として悩みや相談を持つ人の手助けをします。	例:病院 児童相談所	必要な資格 ・臨床心理士

	仕事内容	職場	資格
義肢装具士	障がいがある人の生活の質の向上を支える専門の技術者で、障がいやニーズに合わせた義手、義足、体幹装具などの義肢装具を作成します。	例：病院 義肢製作所	必要な資格 ・義肢装具士
言語聴覚士	言語障がいなどの機能回復を図る専門職です。	例：病院 言語聴覚障害者更生施設	必要な資格 ・言語聴覚士
手話通訳士	聴覚障がいのある人のコミュニケーションを援助する専門職です。	例：病院 社会福祉事務所	必要な資格 ・手話通訳士

資料)岐阜県福祉人材センター「福祉・介護の仕事と資格 福祉の学校ガイドブック2008」

たじみヘルパーステーションで働く今井さんのお話

私の勤めている職場は常勤職員が14名、パート職員が66名のヘルパー事業所です。常勤職員は全員、パート職員も半数以上の35名が介護福祉士という国家資格を持っており、その他の職員も全員が訪問介護員2級の資格を持って働いており、“介護のプロ”として仕事をしています。

ホームヘルパーは高齢者や障がい者のお宅を訪問し、身体介護と生活援助を行っています。身体介護とは、入浴の介助や洗髪、おむつ交換や病院の通院介助などです。生活援助は買い物や調理、洗濯や掃除などです。

私たちは1日に3～5軒のお宅を車で移動して訪問します。多治見市内では一人暮らしの高齢者や高齢者夫婦世帯の利用者が多くなっています。その方々がいつまでも地域で暮らしていくためにヘルパーとして支援を行っています。

仕事の中で一番難しいことは利用者との信頼関係です。利用者の方はじっくりと話を聞いてもらえるヘルパーを望んでいます。また心から安心して任せられることができるヘルパーを希望されます。また身体介護にはある程度のマニュアルはありますが、生活援助は利用者のその日その日の希望や体調に合わせて行うので難しいことが多いです。そのため、ヘルパーステーションでは、一人の利用者に対して数人のヘルパーで関わっています。ヘルパーが休んだり、一人で悩みを抱えこまないようにと常に応援、相談できるグループ体制で利用者を支援しています。

訪問するとき持参するもの

- ・エプロン
- ・入浴用エプロン
- ・手袋
- ・消毒薬(3種類)
- ・クリーム
- ・腰痛ベルト
- ・予定表など



ヘルパーステーションで働く
今井さん

2. 福祉関連施設

(1) 多治見市内の福祉施設

平成22年4月現在

	種 別	施 設 名	所 在 地	電 話 番 号
高 齢 者 の た め の 施 設	養護老人ホーム	多容荘	旭ヶ丘7-16-1	27-6778
	特定施設	介護付有料老人ホーム多治見生楽館	滝呂町1-79-1	28-3351
		ケアハウス ピアンカ	上山町1-92-1	21-3814
		ケアハウス ベルツリー	脇之島町3-16-1	22-4434
		介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	たじみ陶生苑	小名田町小滝5-411
		かさはら陶生苑	笠原町2854-1	45-2181
		ベルツリー	脇之島町3-16-1	22-4434
		ピアンカ	上山町1-97-2	25-0780
		エバーグリーン	小名田町西ヶ洞1-325	21-5135
		清涼苑	旭ヶ丘7-17-1	29-1185
	介護老人保健施設 (老人保健施設)	メモリアル光陽	大畑町大洞39-1	25-8343
		アルマ・マータ	小名田町西ヶ洞71-1	24-6787
	介護療養型医療施設	水野内科	幸町7-28-14	20-2055
	老人福祉センター	多治見市老人福祉センター	太平町2-39-1 (総合福祉センター内)	25-1131
		多治見市滝呂老人福祉センター	滝呂町10-87-4 (サンホーム滝呂内)	24-5560
		多治見市南姫老人福祉センター	大針町字台80-2 (ふれあいセンター姫内)	20-2020
	地域包括支援センター	太平地域包括支援センター	太平町2-39-1 (総合福祉センター内)	25-1135
		滝呂地域包括支援センター	滝呂町10-87-4 (サンホーム滝呂内)	24-5562
		南姫地域包括支援センター	大針町80-2 (ふれあいセンター姫内)	20-2021
	高齢者支援センター	脇之島高齢者支援センター	脇之島町3-16-1 (ベルツリー内)	22-4434
		北栄高齢者支援センター	大針町80-2 (ふれあいセンター姫内)	25-7102
		笠原高齢者支援センター	笠原町2900-6 (かさはら福祉センター内)	45-0007
	認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	愛の家	旭ヶ丘7-9-12	20-2185
		市之倉ひまわり	市之倉町13-83-353	28-3113
		円	小名田町3-89	25-3936
		我家我家(がやがや)	小泉町4-228	27-8333
		グリーンホームかさはら	笠原町4406-1	43-5888
		さくらの杜	上町4-46-7	26-9899
		シュアー	小名田町3-112	24-8403
		住ま居る	笠原町2245-42	45-2077
		太陽	幸町4-41-5	20-0012
		ニチイのほほえみ多治見	太平町1-70-1	21-6530
花トピア姫		大針町672-2	26-7248	
ホープ		希望ヶ丘2-1-2	25-3936	
障 がい の ある 人 の た め の 施 設		障害者支援施設	第一陶技学園	姫町2-2
	第二陶技学園		姫町2-2	29-2411
	陶技学園通勤寮		姫町2-2	27-8405
	ふなホーム		平和町6-364	22-1011
	旭ヶ丘ホーム		旭ヶ丘7-16-55	27-8022
	社会就労センター けやき		平和町6-364	22-1011
	優が丘		旭ヶ丘7-16-71	29-1424
	はだし工房共同作業所		笠原町1647-788	44-3401
	なごみの杜かさはら		笠原町2215-1	44-1717
	多治見市障害者福祉センター		太平町2-39-1 (総合福祉センター内)	25-1131
	ピュアハート姫		大藪町849-1	27-3744

	種 別	施 設 名	所 在 地	電話番号
児童・生徒のための施設	母子福祉センター	多治見市母子福祉センター	太平町2-39-1 (総合福祉センター内)	25-1131
	児童館・児童センター	坂上児童館	坂上町7-30	22-6702
		中央児童館	御幸町2-95	22-8903
		大原児童館	小泉町3-50	27-2502
		本土児童館	小田町1-20	23-0333
		共栄児童館	高田町6-40	23-9230
		笠原児童館	笠原町2837-2	44-2285
		太平児童センター	太平町2-39-1 (総合福祉センター内)	25-1131
		旭ヶ丘児童センター	旭ヶ丘7-16-62	27-9783
		根本児童センター	根本町3-90	29-5711
		市之倉児童センター	市之倉町7-124	25-3730
	脇之島児童センター	脇之島町6-31-5	25-2151	
	滝呂児童センター	滝呂町10-87-4 (サンホーム滝呂内)	24-5560	
	南姫児童センター	大針町80-2 (ふれあいセンター姫内)	20-2020	
	心身障害児通園施設	なかよし療育センター	元町3-28	25-0783
ひまわり子どもの家		笠原町1194-1	43-3400	

(2) 多治見市内の保育所

施 設 名	所 在 地	電話番号
双葉保育園(公立)	元町4-10-2	22-3582
滝呂保育園(公立)	滝呂町8-1-2	22-1831
小泉保育園(公立)	小泉町2-153	27-2546
池田保育園(公設・民営)	池田町3-120	22-6017
共栄保育園(公立)	高田町3-64	22-2507
美坂保育園(公立)	美坂町8-8	22-9600
北野保育園(公立)	喜多町8-27	23-3385
旭ヶ丘保育園(公設・民営)	旭ヶ丘8-29-43	27-4526
市之倉保育園(公立)	市之倉町8-20	23-7327
湊南保育園(私立)	十九田町2-79	22-5629
姫保育園(私立)	大藪町1238	29-2257
前畑保育園(私立)	幸町7-2-2	27-2579
若草保育園(私立)	京町5-73-1	22-5544
笠原保育園(公立)	笠原町1974-1	43-3052

(3) 多治見市内の福祉・保健関係機関、団体

施 設 名	所 在 地	電話番号	設置主体
多治見市社会福祉事務所	日ノ出町2-15(市役所福祉課)	22-1111	市
多治見市総合福祉センター	太平町2-39-1	25-1131	市
かさはら福祉センター	笠原町2900-6	43-4158	市
多治見市保健センター	弁天町1-9-1	23-6187	市
東濃子ども相談センター	上野町5-68-1(東濃西部総合庁舎内)	23-1111	県
東濃保健所	上野町5-68-1(東濃西部総合庁舎内)	23-1111	県
多治見年金事務所	小田町4-8-3	22-0255	特殊法人
多治見市社会福祉協議会	太平町2-39-1(総合福祉センター内)	25-1131	社会福祉法人
サンホーム滝呂	滝呂町10-87-4	24-5560	市
ふれあいセンター姫	大針町80-2	20-2020	市

多治見市福祉教育読本編集委員

役 職	所 属 ・ 職 名	氏 名
委員長	教育研究所	永井 清
副委員長	市役所会計課	安藤 彰子
編集委員、表紙・裏表紙絵	身体障害者福祉協会	伊藤 一浩
編集委員	特別養護老人ホーム エバーグリーン	大村 浩司
	多治見市社会福祉協議会	古山 直樹
	小泉小学校 教頭	金森 透
	南姫中学校 教頭	福井 寛
	南ヶ丘中学校 教諭	勝野 和広
	養正小学校 教諭	加藤ひろみ
	市役所福祉課	前田あゆみ
キャラクター挿絵	北栄小学校 教諭	細江 泰誌

(平成22年3月末現在)

取材協力

岐阜県立岐阜盲学校

岐阜県立岐阜聾学校

中部盲導犬協会

多治見市社会福祉協議会

たじみヘルパーステーション

優が丘

特別養護老人ホーム ベルツリー

老人保健施設 アルマ・マータ

グループホーム 太陽

日本自閉症協会岐阜県支部

特別養護老人ホーム エバーグリーン

参考文献

総務省統計局「日本の統計」

福祉の仕事ガイドブック／岐阜県社会福祉協議会 岐阜県福祉人材センター

ボランティアのすすめ／多治見市社会福祉協議会・多治見市ボランティアセンター

高齢者保健福祉計画2006、2009

自閉症の手引き／社団法人 日本自閉症協会

知ってほしい!わかってほしい!知的障がい／岐阜県 健康福祉部 障害福祉課

自閉症の森／<http://www.jiheinomori.com/>

サポートハンドブック～障害のある人への窓口でのサポート～／

和歌山県 福祉保健部 福祉保健政策局 障害福祉課

発行 平成22年3月

編集 多治見市健康福祉部健康福祉政策課

健康福祉政策課長 吉村 健一

三宅かおり

後藤 紀男

〒507-8703 多治見市日ノ出町2-15

TEL 0572-22-1111 (代)

E-mail fukusi1@city.tajimi.gifu.jp

URL <http://www.city.tajimi.gifu.jp>

この冊子は、1部あたり231円で5,000部、総額1,155,000円で作成しました。
この冊子は、グリーン購入法に基づく基本方針における「印刷」の基準に従い、
印刷用の紙へのリサイクルに適した材料(Aランク)のみを用いて作成しています。
リサイクル適性:紙へリサイクル可



1	年	組	番	班
2	年	組	番	班
3	年	組	番	班
名 前				